資料-3　THE シガパークビジョン(素案)

20261016-3 時点

THE シガパークビジョン（素案）

赤字：第４回委員会後追記修正

滋賀県交通まちづくり部
THE シガパーク推進課

THE シガパークビジョン（素案）

はじめに

第Ⅰ編　THE シガパークビジョン

1 章　THE シガパークビジョンの概要

1.1. THE シガパークとは …… 1
1.2. これまでの THE シガパークの取組 …… 2
1.3. THE シガパークビジョンの構成 …… 3
1.4. THE シガパークビジョンの位置付け …… 4

2 章　公園への期待と課題

2.1. 公園の役割・とりまく課題 …… 6
（1）公園のもつ多様な役割 …… 6
（2）現在の公園をとりまく課題 …… 7
2.2. THE シガパークを構成する公園の現状と課題 …… 9
（1）THE シガパークを構成する公園の現状 …… 9
（2）公園の更なる魅力向上に向けた課題 …… 13
2.3. 利用者等の公園に対する思い・期待 …… 15
（1）利用者等の公園に対する思い …… 16
（2）利用者等の公園に対する期待 …… 19

3 章　THE シガパークの目指す姿 …… 24

4 章　基本理念と取組方針

4.1. 基本理念 …… 26
4.2. 取組方針 …… 27

5 章　THE シガパークの実現に向けて

5.1. 市町・民間・地域コミュニティ等との連携 …… 29
5.2. THE シガパークを構成する個別公園の魅力向上 …… 29
5.3. THE シガパークビジョンの見直し等 …… 31

第Ⅱ編　第１期行動計画 2030

１章　行動計画の概要 …… 33

２章　2030 年の目標 …… 34

３章　実施内容とロードマップ

3.1. レベルアップ …… 35
（１）魅力事業 …… 35
（２）ベース事業 …… 35
3.2. タイアップ …… 36
（１）ボランティア・地域コミュニティ活動 …… 36
（２）公民連携・寄附 …… 36
（３）市町の公園・民間との連携 …… 37
3.3. チームアップ …… 37
（１）一体的広報・イベント連携 …… 37
（２）県の施策との連携 …… 37
（３）市町との連携 …… 37
3.4. ロードマップ …… 38

□　巻末資料

これまでの THE シガパークの取組 …… 巻- １
公園に関するアンケート調査結果 …… 巻-14
THE シガパークビジョン検討委員会 …… 巻-27

はじめに

背　景

滋賀県では、自然環境の保全、防災、レクリエーション、健康増進等を目的とした都市公園、条例に基づき設置された希望が丘文化公園（昭和 47 年（1972 年）開園）等の公園を、時代のニーズにあわせて設置し管理運営してきました。また、日本初の国定公園である琵琶湖国定公園(昭和 25 年(1950 年指定)をはじめ、優れた自然の風景地の保護や利用を目的とした自然公園(国定公園、県立自然公園)が指定され、県土に占める自然公園の面積の割合は、全国一位となっています。

このように都市公園や自然公園、条例に基づく公園など様々な公園が存在しています。

一方、コロナ禍※1（平成 31 年（2019 年）～）においては、ソーシャルディスタンスの確保が呼び掛けられる中、公園から琵琶湖の雄大な景色や連なる山々を眺めるなど、身近なオープンスペースの価値が再認識されました。このような中、令和５年（2023 年）から、公園の「心のオアシス」としての価値を再認識し、暮らしと心を豊かにする場を目指して、滋賀の公園全体の魅力向上を図る取組を行っています。

これらの取組は、琵琶湖を中心とした滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となった姿を「THE シガパーク」と定義し、人々の交流や自然との触れ合いなどを通じて、すべての人の心と暮らしを健やかにするとともに、共創による魅力の向上を目指しています。

目　的

これらの背景を踏まえて、「THE シガパークビジョン」は、これまで庁内で積み重ねてきた検討を基に、THE シガパークビジョン検討委員会における議論、県民や公園の利用者、関係者からいただいたご意見を反映し、目指す姿や基本理念、取組方針を定めます。

本ビジョンを通じて、THE シガパークの実現に向けて滋賀の公園が持つ可能性や将来の姿を広く共有することで、県民や関係者の皆様がそれぞれの立場で関わり、共に魅力を高めていくことや、多様な主体が緩やかにつながり連携・協働していくための共通のみちしるべとすることを目的とします。

※1「コロナ禍（コロナか）」とは、2019 年末から世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって引き起こされた、社会・経済的危機や災難を指す言葉です。

第Ⅰ編　THE シガパークビジョン

1章　THE シガパークビジョンの概要

1.1.THE シガパークとは

滋賀県の生活・文化・歴史は古くから、琵琶湖はもちろんそこに流れ込む多くの河川やその水源となる山や森林といった自然と切り離せない関係にあり、公園もまた緑や水と強く結びついています。

滋賀県には、そんな豊かな自然を生かした魅力ある公園が琵琶湖沿岸から内陸まで数多く存在しており、その県土に占める自然公園の割合は全国一位の 37%です（令和８年４月 10 日現在）。

数多くの魅力的な公園や豊かな自然環境を個々の点として捉えるのではなく、琵琶湖を中心として、滋賀県全体が水と緑、そして人々の活動でつながり一つの大きな公園となった姿、それを**「THE シガパーク」**と定義します。

「滋賀県はでっかい公園だ！」



というキャッチコピーのもと、琵琶湖の碧（あお）さに溶け込むようなくつろぎの空間、四季折々の風景が紡ぐ豊かな自然、子どもたちが時間を忘れて熱中できる遊びの場など、それぞれの公園が持つ多様な個性を有機的につなぎ、県全体で一体的な魅力向上を図ることを目指しています。

この「THE シガパーク」が目指すのは、すべての人の憩い・交流・体験の場であり、子どもたちが美しい自然の中で健やかに遊び、学ぶことができる空間です。さらには、人間だけでなく、そこに生息するすべての生きもの達の環境でもあります。

本ビジョンのもと、県民、利用者、関係者といった多様な主体がこの目指す姿を共有し、それぞれの公園が特徴を発揮しながら相互に連携することで、滋賀の公園全体のポテンシャルを最大限に高めていくこととしています。

1.2.これまでの THE シガパークの取組

滋賀県では、令和５年（2023 年）６月に、公園を所管する部局を横断した庁内会議として「“しがの公園”魅力向上推進会議」を設置しました。この会議の中で、県全体を一つの大きな公園と捉える「THE シガパーク」という名称が誕生したことを機に、「THE シガパーク推進会議」へと改称のうえ、全庁一丸となった取組を展開してきました。

当初はこうした県庁内を中心とした取組としてスタートしましたが、滋賀ならではの公園を次世代へと引き継ぎ、その魅力をさらに高めていくためには、行政の枠組みを越え、県民や民間事業者、市町とともに進める「共創の取組」へとつなげていく必要があります。そこで、社会全体で未来の公園像を共有し、一丸となって歩みを進めるためのみちしるべとして、本ビジョンを策定することといたしました。

令和８年（2026 年度）には、「水と緑と人でつながる“THE シガパーク”」を目指すため、都市公園に加え、これまで各部に分かれて所掌してきた公園の整備管理を同一組織で担当する THE シガパーク推進課を発足しました。

現在の主な取り組みは以下の通りです。

・基本的な施設の魅力向上を図るため、快適なトイレ・わかりやすい看板・ゆとりある駐車場等への更新

・民間事業者等との協働を広げるため、THE シガパーク企業フォーラムの開催等を通して、「公園を使ってできること」「公園のためにできること」を共有

・THE シガパークロゴマーク・キャラクターの決定

THE シガパークロゴマーク・キャラクター

・パンフレット、Instagram、県民参加型の動画募集規格で応募のあった動画を活用した MOVIE 等を通した広報　等

1.3.THE シガパークビジョンの構成

「THE シガパークビジョン」は、長期的な展望を示す「第Ⅰ編 THE シガパークビジョン」と、５か年毎の具体的な施策を定める「第Ⅱ編 行動計画」の２編で構成されています。

第Ⅰ編では、本県が時代ごとに多様な公園を整備してきた経緯を踏まえ、時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念を定めるとともに、20～30年後の次世代へ確実に引き継ぐための取組方針を定めています。ここで見据える 20～30 年後とは、社会環境や人口構造が大きく変化する中でも、次世代の暮らしの基盤となる公園のあり方を今から長期的な視点で描き、育む期間として設定したものです。

一方、第Ⅱ編の「行動計画」は、社会情勢の急速な変化や多様化するニーズに柔軟に対応するため、５年サイクルで順応的な見直しを行います。

「THE シガパーク」の実現に向けては、県民、利用者、関係者と目指す方向を共有し、共に魅力を高めていく「みんなでつくる THE シガパーク」への深化を目指し、柔軟かつ着実に取組を推進していきます。

THE シガパークビジョン

- **第Ⅰ編　THE シガパークビジョン**
  - 時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念
  - 20～30 年後に次の世代に引き継ぐための取組方針
- **第Ⅱ編　行動計画**
  - THE シガパークビジョンを実現するための行動計画

＜構成と対象期間＞

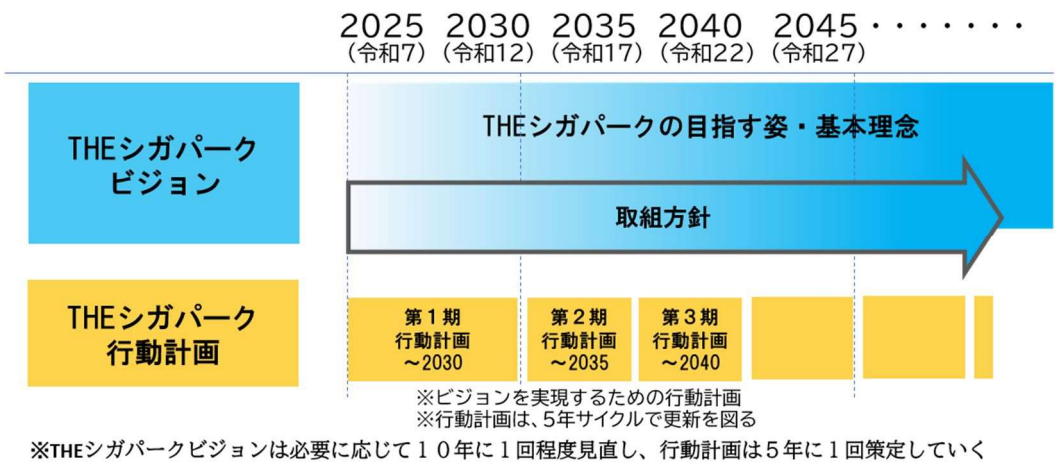


図　THE シガパークビジョンの構成と対象期間

1.4.THE シガパークビジョンの位置付け

■関連計画など

THE シガパークビジョンは、「滋賀県基本構想　変わる滋賀　続く幸せ」、「滋賀県基本構想実施計画（第２期）～みんなで描き、ともに創る「健康しが」～」、「人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀総合戦略」を上位計画として策定しています。また、「滋賀県の気候変動影響等とりまとめ」、「マザーレイクゴールズ（MLGs）アジェンダ」、「みどりとみずべの将来ビジョン」、「緑の広域計画（今後策定予定）」などの関連計画と相互に連携し、国の関連法などとの整合を図ります。

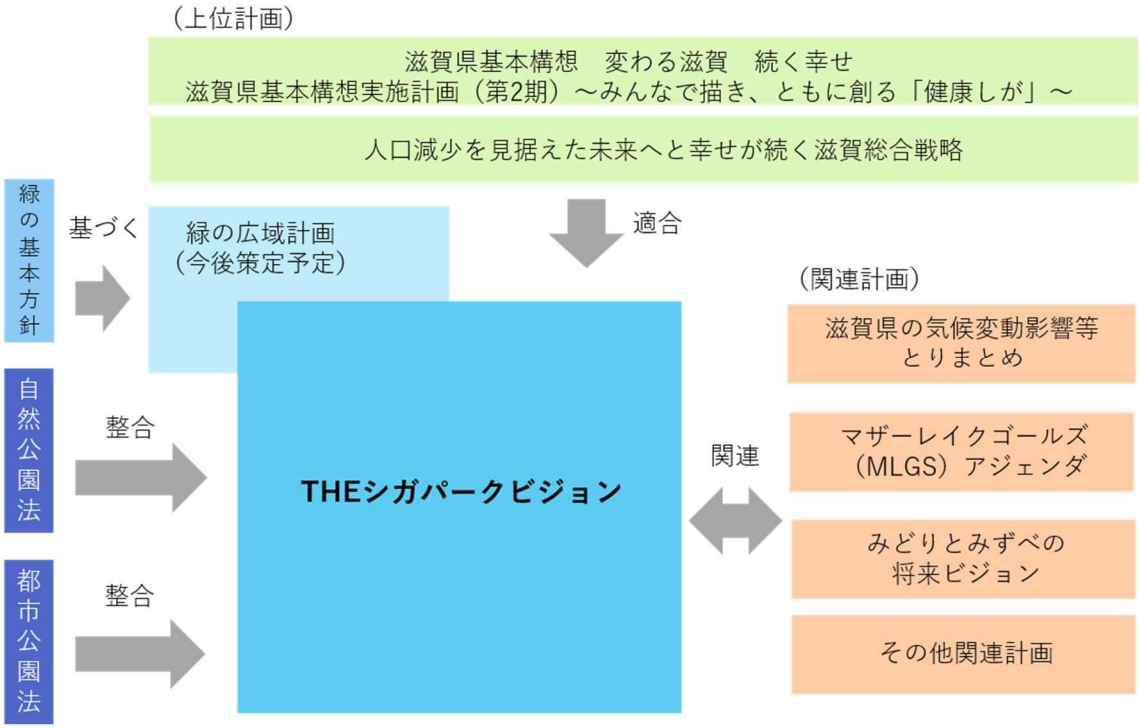


図　THE シガパークビジョンの位置付け

■対象分野

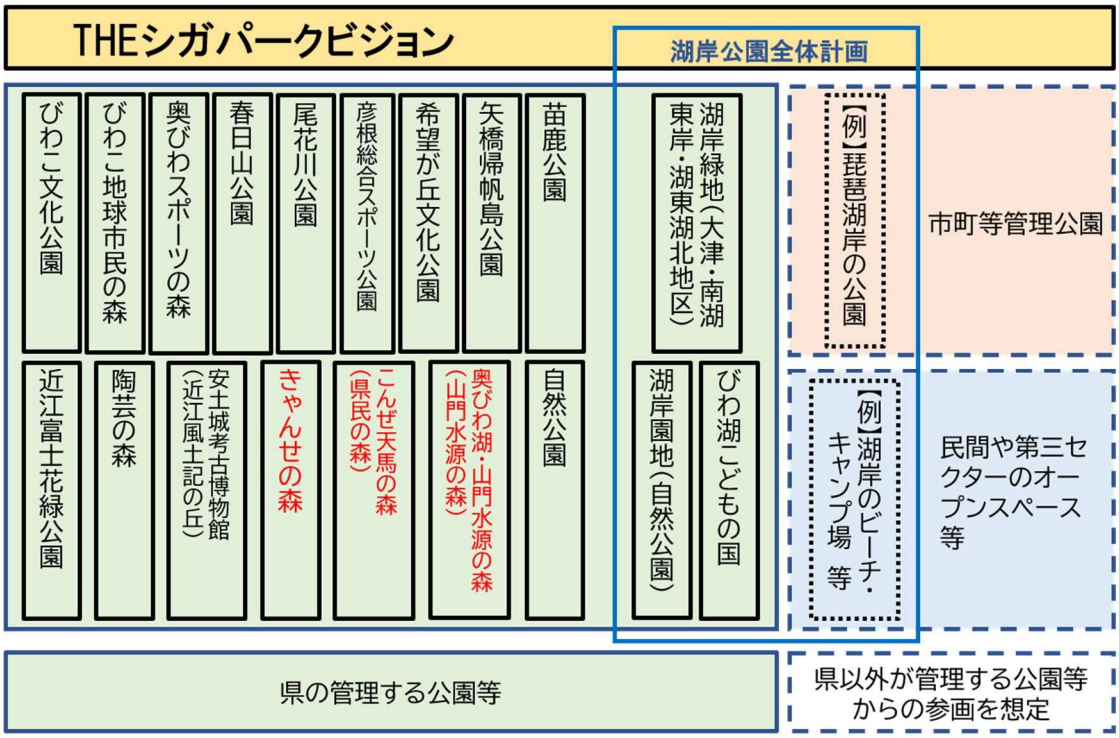
THE シガパークビジョンの対象となる分野は、公園の利便性向上や利用促進に関する取組 （ハード＆ソフト事業）としています。

また、県の各施策を推進する上で、公園に関係する取組（健康、こども、自然環境、生物多様性、動物愛護、地域交通、観光など）については、各担当部局の方針等に沿って進めていきます。

■取組対象範囲

THE シガパークビジョンでは、県が管理する主な公園を中心に、その他の多様な公園を順次追加していきます。さらに、県全体を一つの大きな公園としてつなげていくためには、県の公園だけでなく、地域に身近な市町の公園や、民間・地域が管理する多様な緑の空間が、それぞれの垣根を越えて連携していくことが望まれます。

このため、THE シガパークを構成する個別の公園であるパークネットワーク※2の拡充を進めるとともに、この趣旨に賛同し、ともに参画・連携が可能なひとや市町の公園、地域団体・企業などを広くパークメンバー※3として迎え、ともに THE シガパークの取組を進めてまいります。



※THE シガパークビジョンを実現するための重点的な取組として、
湖岸公園全体計画を THE シガパークビジョンと並行して策定。

図　THE シガパークビジョンの取組対象範囲

※2パークネットワーク：THE シガパークを構成する個別の公園に対する呼び名
※3パークメンバー：公園で活動するひと、連携していきたい市町の公園・地域団体・企業等に対する呼び名

2章　公園への期待と課題

2.1.公園の役割・とりまく課題

（１）公園のもつ多様な役割

公園はレクリエーションの場にとどまらず、多様な役割を担っており、私たちの安全でゆとりある生活に欠かせない公共インフラです。

整備された公園が機能することによって得られる「ストック効果」には、防災、環境、健康、子育て、観光など９つの側面が例示されており、近年高い関心と注目を浴びている多くの分野に関係しています。

公園の魅力向上に取り組むことは、多くの課題の解決に対するアプローチにつながるものであり、重要性が高いものであると言えます。

＜公園のストック効果＞

①防災性向上効果	②環境維持･改善効果	③健康･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ空間提供効果
④景観形成効果	⑤文化伝承効果	⑥子育て、教育効果
⑦コミュニティ形成効果	⑧観光振興効果	⑨経済活性化効果

◆安全・安心効果
①防災性向上効果
　災害発生時の避難地、防災拠点等となることによって都市の安全性を向上させる効果
◆生活の質の向上効果
②環境維持・改善効果
　生物多様性の確保、ヒートアイランドの解消等の都市環境の改善をもたらす効果
③健康・レクリエーション空間提供効果
　健康運動、レクリエーションの場となり心身の健康増進等をもたらす効果
④景観形成効果
　季節感を享受できる景観の提供、良好な街並みの形成効果
⑤文化伝承効果
　地域の文化を伝承、発信する効果
⑥子育て、教育効果
　子どもの健全な育成の場を提供する効果
⑦コミュニティ形成効果
　地域のコミュニティ活動の拠点となる場、市民参画の場を提供する効果
◆生産拡大効果
⑧観光振興効果
　観光客の誘致等により地域の賑わい創出、活性化をもたらす効果
⑨経済活性化効果
　企業立地の促進、雇用の創出等により経済を活性化させる効果

引用：「都市公園のストック向上に向けた手引き」（国土交通省公園緑地・景観課）平成 28 年 5 月

（２）現在の公園をとりまく課題

●新型コロナの感染拡大を経たニューノーマル社会への対応

コロナ禍において「三密」を回避できる都市オープンスペースとしての価値が再評価され、身近な公園への需要が急速に高まる中、ICT の進展やテレワークの定着により、「日常のすぐそばに豊かな自然がある」という滋賀ならではの価値が、これまで以上に重要になっています。

これからの公園は、仕事・暮らし・心身の回復が調和するライフスタイルの拠点として、新たな役割を担うことが期待されます。自然の中で創造性や生産性を高める新しい働き方のサポートや、読書・休息、多世代のゆるやかな交流を楽しめる屋外のリビングのような空間が求められています。

●地球環境問題（温暖化、異常気象等）への取組

琵琶湖を擁し、豊かな水系と森林に囲まれた滋賀県では、その自然環境を次世代へ継承していくことが重要です。公園には、単なるレクリエーションの場としてだけでなく、雨水貯留・浸透機能の維持・向上、生物生息空間の保全・創出、賑わい創出等の機能を備えた「グリーンインフラ」として、気候変動への適応や防災・減災に貢献する空間としての機能が求められています。

さらに、「ネイチャーポジティブ※4」の実現に向けた生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収といった環境保全機能の強化とともに、環境学習・自然体験の場を通じて県民の環境意識を育むことが重要です。自然と共生する暮らしを支えながら、脱炭素社会の実現に向けた滋賀らしい環境拠点としての役割が求められています。

●社会構造変化による孤独・孤立、コミュニティ衰退への対応

核家族化・単身世帯の増加や地域とのつながりの希薄化が進む中、公園には世代や立場を超えて誰もが気軽に集い、人と人をゆるやかにつなぐ交流空間としての機能が求められています。

日常的な散歩や利用を通じて自然な見守りやふれあいが生まれることで、人と地域とのつながりが深まり、多世代が互いに支え合えるようになります。こうした、地域コミュニティの核となる新たな拠点を目指した具体的な取組の展開が求められています。

※４ネイチャーポジティブ：自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させることを指します。

●市民・民間事業者の意識変化

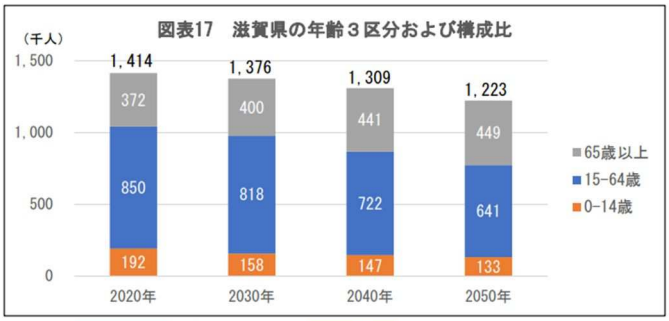
公園の維持管理を行う環境が厳しさを増す中、Park-PFI 等を契機とした民間活力の導入は、収益性の高い公園を中心に広がっています。今後は、身近にある小規模な公園も含めて多様な主体との連携を一層進め、存在効果や地域への波及効果を見据えたポテンシャルの活用が求められます。

一方で、CSR 活動や ESG 投資などの社会貢献活動の浸透、将来を担う若者の社会貢献への関心の高まりに加え、滋賀県には、近江商人の「三方よし」に代表されるように、経済活動と社会的な調和を両立させる持続可能な気質が受け継がれています。これからの公園は、こうした多様な主体や市民の参画意欲を活かし、共に創り育てる公共空間へと発展していくことが求められています。

●人口減少・少子高齢化社会への対応

滋賀県は、既に人口減少局面にあるものの、世帯数の増加がみられ、１世帯当たりの人数は減少しています。単身世帯の増加や、３世代同居が減少した影響が示唆されます。また、長期的には、人口減少・少子高齢化が急速に進展し、地域を取り巻く環境が大きく変化していきます。こうした中、公園は地域の暮らしを支える重要な基盤として、その価値をさらに高めていくことが期待されます。

そのため、これからの公園は高齢者の健康づくりや生きがいづくり、子どもたちの健やかな成長を育む場として、世代を超えて地域に寄り添う機能の充実が不可欠です。ICT 等を活用した地域の活力と豊かな暮らしを支える滋賀らしい公園のあり方を追求していくことが求められています。



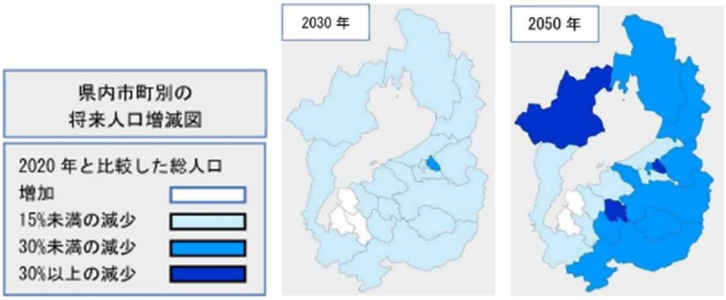


図　県内市町別の人口増減図

出典：滋賀県人口ビジョン
令和７年（2025 年）
12 月更新

2.2. THE シガパークを構成する公園の現状と課題

（１）THE シガパークを構成する公園の現状

滋賀県には、琵琶湖の美しい湖岸風景をはじめ、里山の豊かな自然環境を生かした公園など様々な公園があります。これらの公園は、四季折々の風景や生きものと触れ合えることができる貴重な空間として、近隣市町を含めた県民の利用及び県外からの利用が中心となっており、幅広い属性や年齢層など、多くの来訪者に親しまれています。

特に、滋賀県は県土に占める自然公園の割合が全国一位となる 37%（令和８年４月 10 日現在）であり、豊かな自然環境を有している地域であると言えます。このような地域特性に加え、「営造物公園（都市公園や条例公園）」※5 や「地域制公園（自然公園）」※6 といった根拠となる法律や形態の異なる公園があり、次頁の THE シガパークを構成する公園一覧に示す通り、各公園の特徴を生かした取組が進められています。

こうした多様な公園が有機的に連携することで、THE シガパークとして魅力あるネットワークを形成し、人々の憩いや交流、環境学習の場として重要な役割を果たしていく必要があります。

※5 営造物公園：国または地方公共団体が一定区域内の土地の権原を取得し、目的に応じた公園の形態を創り出し、一般に公開する公園。滋賀県の条例に基づいて整備された「条例公園」も含む。
※6 地域制公園：国または地方公共団体が、一定区域内の土地の権原に関係なく、その区域を公園として指定し、土地の利用の制限や一定の行為の規制等によって自然景観を保全することを主な目的とする公園。

表　THE シガパークを構成する公園一覧（1/2）

公園名		湖岸緑地	びわこ文化公園（文化ゾーン）	びわこ地球市民の森	奥びわスポーツの森	春日山公園	尾花川公園	彦根総合スポーツ公園	希望が丘文化公園	矢橋帰帆島公園	苗鹿公園
所管所属課		THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	スポーツ課	文化芸術振興課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課
所在地		大津市他7市	大津市	守山市	長浜市	大津市	大津市	彦根市	蒲生郡竜王町 野洲市	草津市	大津市
区分		都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	都市公園	条例公園	条例公園	条例公園
公園種別		広域公園	総合公園	都市緑地	総合公園	総合公園	近隣公園	運動公園			
概要（設置目的）		琵琶湖総合開発計画に基づき、湖水位の低下による湖周辺の自然環境の悪化を防止するとともに、レクリエーション利用の増進を図るために整備された公園	「びわこ文化公園都市構想」の「芸術、教養の文化クラスター」に位置付けられ、滋賀県を代表する芸術、教養の文化施設群を都市公園内に配置した公園	新野洲川の完成により廃川となり、平地化事業の行われた南流の一部を「豊かな森」として再生した公園	県政100年記念事業の一環として、休養とスポーツの場として整備された場所を、都市公園として位置づけた公園	自然環境や古墳群などの保全と活用を図りながら、県民の憩いとレクリエーションの場として整備された公園	びわこ競艇場と近隣住宅との緩衝帯として開設した公園	広く県民の方々が気軽にスポーツを楽しむとともに、次世代を担う子供や若者が夢を育てることが出来、スポーツを通じて世代や性別、障害の有無などを問わず、多様な人びとが交流できることを目的として整備された公園	すぐれた自然環境を保護し、活用し、県民にいこいの場を提供するとともに、広く県民文化、体育の向上に資するため、滋賀県希望が丘文化公園を野洲市、湖南市および蒲生郡竜王町にわたる区域に設置する。	都市の健全な発達および公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質の保全に資するため設置された滋賀県琵琶湖流域下水道事業の中で、下水道施設用地を有効活用するために整備された公園	
開設年度		昭和55年	昭和55年	平成14年	昭和62年	平成13年	昭和51年	令和5年	昭和47年	昭和 58 年	昭和61年
開設面積		157.48ha	43.2ha	42.5ha	21.3ha	23.4ha	1.05ha	19.62ha	416ha	20.4ha	1.3ha
根拠法令		都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法	都市公園法/滋賀県都市公園条例	滋賀県希望が丘文化公園の設置および管理に関する条例	滋賀県琵琶湖流域下水道事業の設置等に関する条例	
管理方法		指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	
実施している取り組み		・適正利用促進の取組を実施	・Park-PFIによるインクルーシブトイレやカフェの設置 ・県立美術館整備計画の策定（公園と一体となった整備を含む）	・Park-PFIによる大型遊具やカフェの設置 ・森づくりサポーターとの協働の森づくり	2025.10スケートボードパーク新規オープン	2025.9スケートボードパーク新規オープン	―	・各種スポーツ大会、競技会の実施 ・観客に見てもらうことを目的とした、興行的なスポーツ大会の実施	・PFI手法による公園全体の活性化に向けた取組 ・民間団体と連携した事業の実施	・公園魅力向上の検討 ・子どもの広場の遊具リニューアル	―
公園の特徴	大切な自然を守り・引き継ぐ公園	○	○	◎	○	◎			○		
	子供が安心して遊び・学べる公園	○	○	○	○	○	◎		○	○	○
	多くの人が集まる賑わいのある公園	◎	◎	○	○	○		○	◎	○	
	体力づくり・スポーツに励める公園				◎			○	○	○	○
	文化・芸術や歴史に触れる公園		○								
	その他							◎ スポーツ大会やイベントを通じて人が集まることで、魅力が高まる公園		◎ 地域環境対策面から地域住民サービスの向上を図るための公園	◎ 地域環境対策面から地域住民サービスの向上を図るための公園

表　THE シガパークを構成する公園一覧（2/2）

公園名		近江富士花緑公園	陶芸の森	安土城考古博物館（近江風土記の丘）	きゃんせの森	びわ湖こどもの国	自然公園	左記のうちの湖岸緑地岡山園地	左記のうちの湖岸緑地新旭浜園地	こんぜ天馬の森（県民の森）	奥びわ湖・山門水源の森（山門水源の森）
所管所属課		THEシガパーク推進課	イノベーション推進課	文化財保護課	森林政策課	子ども若者政策・私学振興課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	THEシガパーク推進課	森林政策課	森林政策課
所在地		野洲市	甲賀市	近江八幡市	米原市	高島市		近江八幡市	高島市	栗東市	長浜市
区分		条例公園	条例公園	条例公園	条例公園	児童厚生施設	自然公園	自然公園	自然公園	なし	なし
概要（設置目的）		県民に四季を通じて花と緑に親しむことのできる場および森林を利用した保健休養の場を提供することにより、県民の緑化意識を高めるとともに、豊かな心の醸成および健康の増進を図るため、設置された公園	県民の陶芸に対する理解と親しみを深め、広く陶芸に関する交流の場とすることにより県の陶器産業の振興と文化の向上を図るため、設置された公園	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、郷土の文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もって県民文化の向上に資するため、設置された公園	森林に対する理解を深め、樹木に親しむことのできる場を提供することにより、森林における自然との様々な触れ合いを通して、森林と人とのかかわりについて学び、豊かな心をはぐくむため設置された森林公園	次代を担う児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするための施設として設置された公園	優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とした園地			昭和50年に実施された全国植樹会場跡地として、県民が森林や自然に親しむ場として設置された森林公園	貴重な自然の保全、県下の流域保全のモデルとなるような水源林の管理及び県民に対して森林の重要性への理解や関心を高める場として活用するため設置された森林公園
開設年度		平成4年	平成2年	平成4年	平成13年	平成4年		昭和57年	昭和58年	昭和50年	平成13年
開設面積		52.2ha	400,000㎡	67836.5㎡	3.43ha	83901.91㎡		9.3ha	13.3ha	1.44ha	63.47ha
根拠法令		滋賀県立近江富士花緑公園の設置および管理に関する条例	滋賀県立陶芸の森の設置および管理に関する条例	滋賀県立安土城考古博物館の設置および管理に関する条例	滋賀県立きゃんせの森の設置および管理に関する条例	児童福祉法	自然公園法	自然公園法	自然公園法		
管理方法		指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	委託	指定管理者制度	委託および直営	委託	委託	委託	委託
実施している取り組み		・森林環境学習「やまのこ」をはじめとした自然体験 ・トイレ洋式化等の小規模施設改修 ・公園魅力向上の検討	・作家市等のイベントの実施 ・陶芸作品の屋外展示 ・あり方検討に基づく施設の見直し	・指定管理者による博物館での展示 ・指定管理者による公園環境の維持管理	・ネーミングライツ募集	・指定管理者による自主事業をはじめとした、子どもの健康を増進し、情操を豊かにする取組を実施している。	―	―	園地の一部区域の近隣事業者と、事業計画について協議を開始している。	・ネーミングライツ導入	・ネーミングライツ導入 ・自然共生サイト登録 ・現地交流会の実施 ・校外学習、企業研修等の受け入れ
公園の特徴	大切な自然を守り・引き継ぐ公園	○	○		◎		◎	◎	◎	◎	◎
	子供が安心して遊び・学べる公園	◎	○			◎					
	多くの人が集まる賑わいのある公園		◎	○		○					
	体力づくり・スポーツに励める公園										
	文化・芸術や歴史に触れる公園		◎	◎							
	その他										

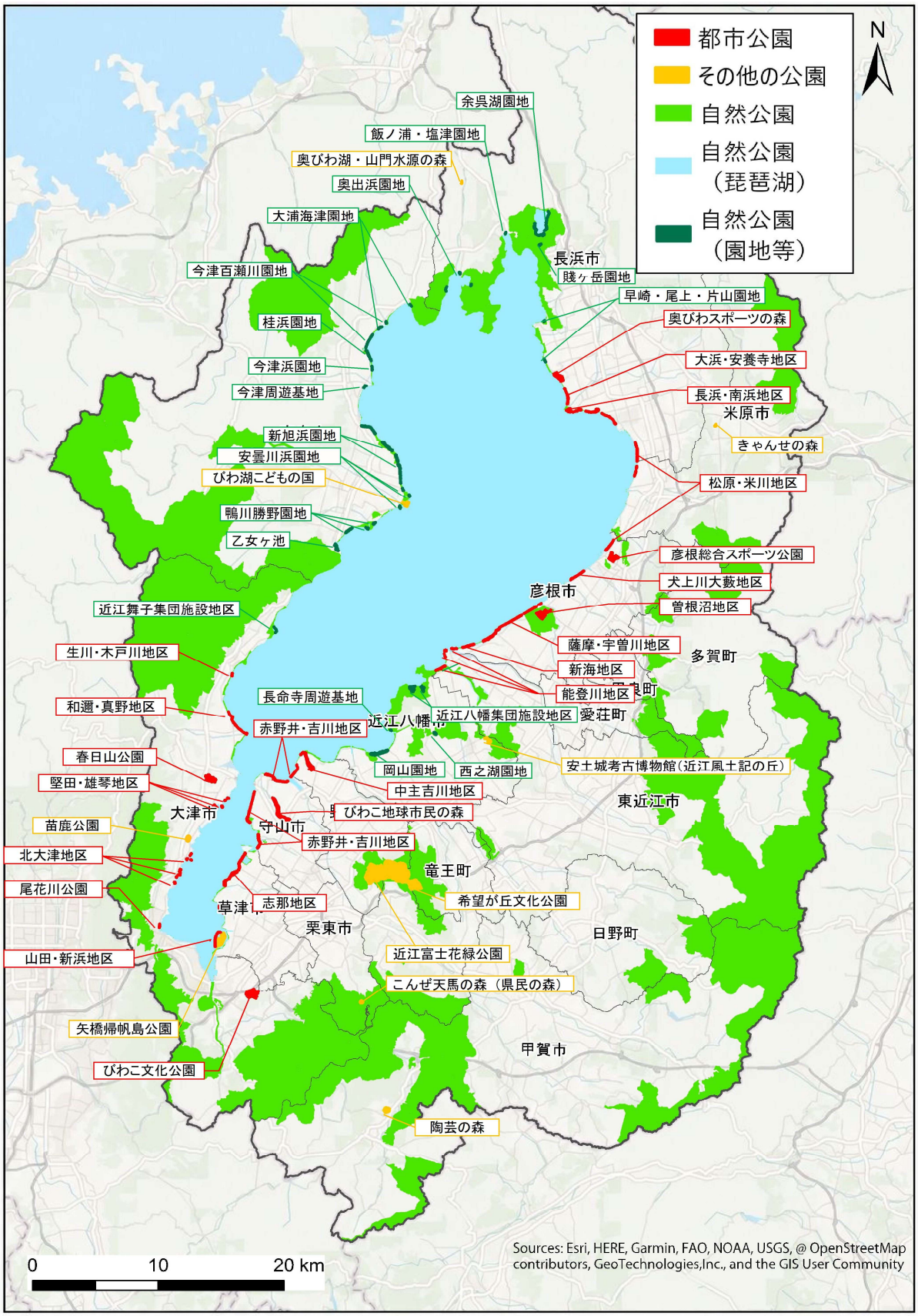


図　THE シガパークを構成する公園位置図

（２）公園の更なる魅力向上に向けた課題

滋賀県基本構想実施計画（第２期）においては、「からだとこころの健康づくり」「子どもを中心とした社会づくり」「暮らしを支え豊かにする基盤」等が政策の柱として掲げられており、これらを実現するために公園が役割を果たすことが必要です。また、公園のさらなる魅力向上に向けては、社会環境や人々の価値観の変化を踏まえた多角的な課題への対応が求められています。

●時代の変化に合わせた魅力ある公園

少子高齢化やライフスタイルの多様化が進む中で、子どもから高齢者までの各世代に加え、これまで公園を利用してこなかった人や、身体的・社会的な理由で利用が難しい人にも配慮した空間づくりが求められています。また、子育て期だけでなく、子育て後や高齢期など、ライフステージに応じて公園との関わり方を提案し、継続的に利用してもらえる仕組みを整えることが必要です。さらに、各公園の特性を活かした賑わい創出や、平日・冬場など利用が少ない時期の活用に向けた魅力ある仕掛けづくりが必要です。

●利用者の視点に配慮した公園づくり

公園の種別や所管にとらわれず、多様な利用者に配慮した一体的な公園整備が求められています。子どもの視点を取り入れた遊びの創造性や安全性を高める仕組みづくりをはじめ、障がいの有無に関わらず誰もが安全・安心・快適に過ごせるユニバーサルデザインの推進、さらには県内利用者に限らず、観光客や外国人利用者の増加を見据え、多言語対応や文化的背景の違いにも配慮したサービスの充実が必要です。

●公園の価値を高める持続可能な施設マネジメント

県内の公園においては、施設の老朽化が進行する中でその機能を十分に発揮していくことが課題です。県の厳しい財政的制約に加え、今後のさらなる人口減少社会の到来に伴う税収の減少が懸念される中、老朽化した既存施設の更新や長寿命化を計画的に進める必要があります。その際、施設の多機能化や利便性向上など付加価値を高める更新を行うことが求められています。維持管理のコスト縮減や効率化を図りながら、これまで以上に安全で快適な、そして将来にわたって維持し続けられる持続可能な施設マネジメントが必要です。

●公園への交通アクセス

公共交通機関との連携強化や案内表示の充実、広域的なアクセス環境の改善により、県内外から誰もが訪れやすい環境整備が求められます。

●造園技術者の確保と新たな管理体制の構築

公園管理にあたり、専門知識を有する造園技術者の不足が進む中で、専門人材の育成や確保に加え、民間活力の活用や地域住民との協働による新たな管理体制の構築が求められています。特に、公園樹木の老齢化・大径木化に伴う倒木や落枝リスクへの対応や効率的な除草、病害虫防除等の維持管理は大きな課題です。その際、景観形成や環境保全機能、地域の歴史的価値に配慮しながら適切に維持管理・更新する専門的なアプローチが必要です。限られた担い手でこれらに対応するため、地域と連携した日常的な見守り体制を確立するとともに、技術の進歩に応じてデジタル技術を用いた効率的な樹木診断の導入などが求められています。

●気候変動に伴う夏の利用環境と安全性の確保

近年の地球温暖化や酷暑に伴い、夏場に遊具が高温化して利用しづらいことや、熱中症リスクの高まりなど、夏場に遊びづらい場所となりつつあることが課題となっています。子どもから高齢者までが年間を通して安全・安心に過ごせるよう、気候変動に適応した公園の整備や維持管理が求められています。

●自然環境の保全と利用のバランス

自然が有する多様な機能を活用するグリーンインフラの視点を取り入れ、過度な利用による環境負荷を抑えながら、誰もが心地よく自然と触れ合える機会を持続的に提供していく必要があります。また、自然を守るだけでなく、より豊かに回復させるネイチャーポジティブの実現に向けて生態系の保全・利用を進めることが求められています。

さらに、アニマルウェルフェア（動物福祉）※7の考え方を取り入れた、人と動物・ペットが互いに快適で安心して過ごせる空間づくりが求められています。

※7 アニマルウェルフェア（動物福祉）：動物が恐怖やストレスを感じず、健康で快適に過ごせる環境を整える考え方。ペット連れ利用者が安全・安心に過ごせる配慮や、過度なストレスを与えない利用空間づくりなどを指します。

2.3.利用者等の公園に対する思い・期待

滋賀県の公園利用者等の公園に対する思いや期待、公園の利用実態や公園へのニーズを把握するため、令和７年（2025 年）に県内外の約 2,400 人を対象に、公園に関するアンケート調査を実施しました。（詳細は、巻末資料「公園に関するアンケート調査結果」に記載）

＜公園アンケート調査概要＞

【 名　称 】公園に関するアンケート調査
【 目　的 】滋賀県の公園の利用実態や公園へのニーズ等を把握する
【 方　法 】WEB アンケート　　：県ホームページに掲載
　　マーケティングリサーチ：調査会社のモニターパネルを活用
【 対　象 】滋賀県内外の 15 歳以上
【 回答数 】2,442 件
　　WEB アンケート　　：県内 197、県外 45
　　マーケティングリサーチ：県内 1,000、県外 1,200
【 期　間 】令和７年 11 月 14 日(金) ～ 令和７年 12 月１日(月)
【 内　容 】利用実態、公園のニーズ（公園に対する思い・期待）の調査

表　質問内容

種別	内　容	回答形式
利用実態	よく利用する（年１回以上）公園	選択回答（複数可）
	利用する公園の主な目的	選択回答（複数可）
	一番利用する公園の利用頻度	選択回答
	一番利用する公園の滞在時間	選択回答
	利用する公園の魅力	選択回答（複数可）
	利用する公園の気になる点	選択回答（複数可）
	公園を利用しない理由	自由記述
ニーズ	公園で、新たにやってみたい事、やってほしい事	選択回答（複数可）
	公園での心に残る思い出や、風景	自由記述
	公園の魅力向上・THE シガパークの取組について、期待すること	自由記述
認知度	「THE シガパーク」の認知度	選択回答

（１）利用者等の公園に対する思い

●滋賀の公園の魅力

滋賀の公園の魅力は、**「散歩や散策ができる」、「風景がきれい」**という意見が多く、次いで、「動植物が多く生育するなど自然が豊か」でした。

＜アンケート結果＞

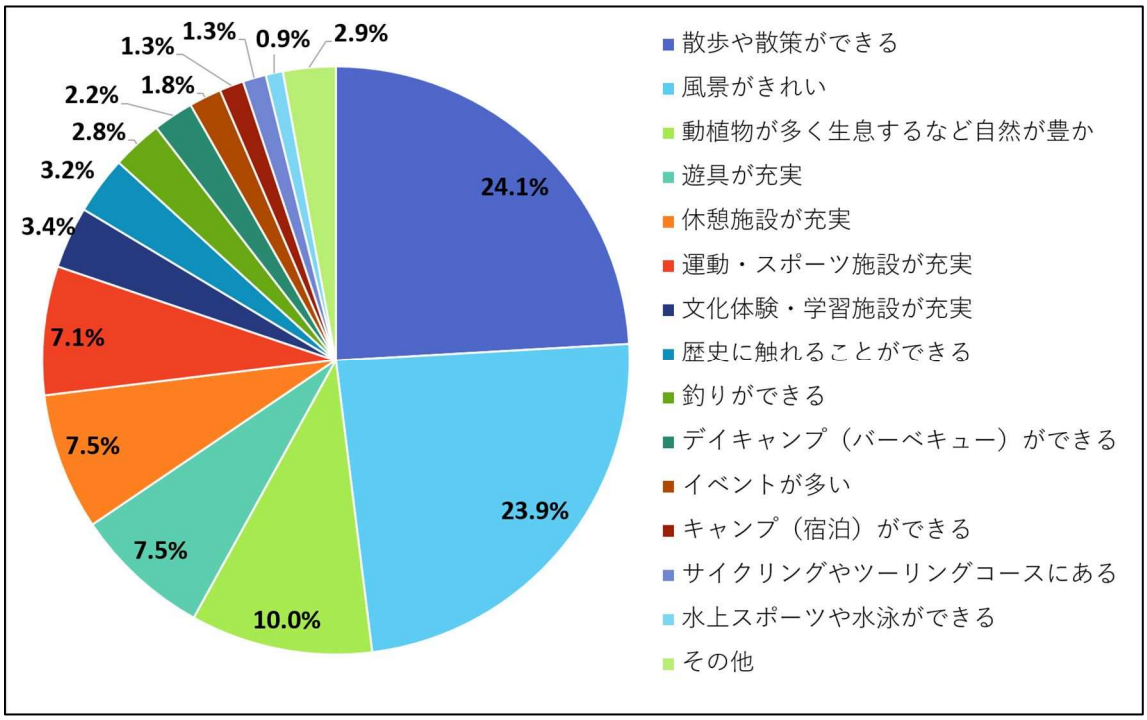


図　利用する滋賀の公園の魅力

＜考察＞

利用者は、滋賀の公園の豊かな自然環境や美しい風景に魅力を感じていることが伺えました。

●公園での心に残る思い出や風景

公園での心に残る思い出や風景は、**「遊び」「子どもとの思い出」「風景鑑賞」「子どもの頃の思い出」**などが多く挙げられました。

＜アンケート結果（自由記述の抜粋）＞

・子どものころは、家族と湖岸の公園でピクニックをした。学生時代は公園に走りに行き、トレーニングをした記憶がある。湖岸から見る景色はどこから見ても癒やされる。

・仕事で忙しく過ごしている日々の中で、子どもを連れて公園に行き、遊具で遊んでいる姿を見ながらベンチで読書をしている時間がとても心が安らぎ、幸せを感じられる。

＜考察＞

ライフステージ毎の公園の思い出が、人々の記憶として残っていることが伺えます。

●公園に対する思い

公園は**“自由な空間として、多様な人や利用を受け入れ、出会う場となっている”**ことが伺えました。

＜アンケート結果（自由記述の抜粋）＞

・公園は誰でも利用できる場所としてウェルカムな仕組みが必要。不登校の子どもたちが自分であれる場所が、家庭以外にたくさんあることが理想。

・それぞれの目的に応じて公園に集うことで、小さな子ども、保護者、働く世代、人生の先輩世代が、互いに熱中することや大事にしていることを見ることができる環境を意識してつくりたい。多様な価値観が理解し合える日常を公園はつくれると思う。

＜考察＞

乳児から大人まで、一人でも家族でも、あらゆる人々が自由に過ごせる空間としての役割が期待されています。

また、草野球や虫捕り、昆虫などの生きものとの触れ合いや野鳥の観察、散歩中のあいさつや偶然出会った人との交流、ダンスやアーバンスポーツなど、公園は日常の多様な風景を生み出し、人々の暮らしや人生を豊かにする場となることが期待されています。

アンケート結果を踏まえたライフステージ毎の公園利用の例

**“公園での思い出は
ライフステージごとに積み重なり、
人生を豊かにしている”**

◇幼少期

遊びや鬼ごっこ、逆上がりの練習などを通じて身体を動かし、友達との関わりの中で社会性を育みます。また、美しい景色に心を動かされる感動や夕暮れの寂しさ、転んだときの痛みなど、多様な感情を経験する場でもあります。





◇青年期・成人期

青年期には友人との語らいや部活動、イベントなどを通じて人とのつながりを深め、成人期には、休息や気分転換、一人の時間を過ごす場として利用されます。



◇子育て期・高齢期

子育て期には家族とのピクニックや子どもの成長を見守る場となり、その後ウォーキングや休息、高齢期には孫とのふれあいの場となります。家族やペットとの思い出を振り返り、自らが幼少期に培った経験を次世代へ受け継ぐ場としての役割も担っています。



このように公園は、人生のさまざまな段階において、人々の記憶や体験とともにあり続ける大切な場所となっています。



図　ライフステージごとの公園の風景
（AI=Gemini で生成）

※最終的に差し替え予定

（２）利用者等の公園に対する期待

●公園の魅力向上・THE シガパークの取組について、期待すること

公園の魅力向上・THE シガパークの取組について期待することは、**県内利用者は「日常の延長としての利便性や快適性」、県外利用者は「非日常としての体験」**を求める傾向にありました。

＜アンケート結果（自由記述の抜粋）＞

県内利用者

・トイレが古いところもあるので、子どもでも安心して使用できるよう、改良してほしい。

・屋内で遊べる施設が少ないため、真夏の暑い時期や、雨の日など、公園にそのような施設があると大変助かるし、魅力に感じる。

・カフェなどが少ないため、ドライブがてら立ち寄れるカフェのような施設があると嬉しい。

県外利用者

・駐車場や利用料の無料化、フォトジェニックな場所の増加。

・県外の人も滋賀県に遊びに行くスポットのひとつになるといい。

・滋賀県には琵琶湖という唯一無二の魅力があり自然も豊かであるため、少子高齢化が進む中、公園は多世代がそれぞれ楽しめる憩いの場であってほしい。

＜考察＞

県内利用者は、日常的な公園利用としての質の向上と、多様な利用者へ対応を求める傾向にあり、一方県外利用者は、観光・レジャーの目的地としての魅力向上や低廉なコスト、滋賀の自然への憧れ等、都会にはない非日常的体験を求める傾向にあることが伺えます。

●公園施設の要望

公園の気になる点として、**「売店や飲食店がない」**、**「トイレが使いづらい」**
「駐車場台数が少ない」「日陰が少ない」が多く挙げられました。

＜アンケート結果＞

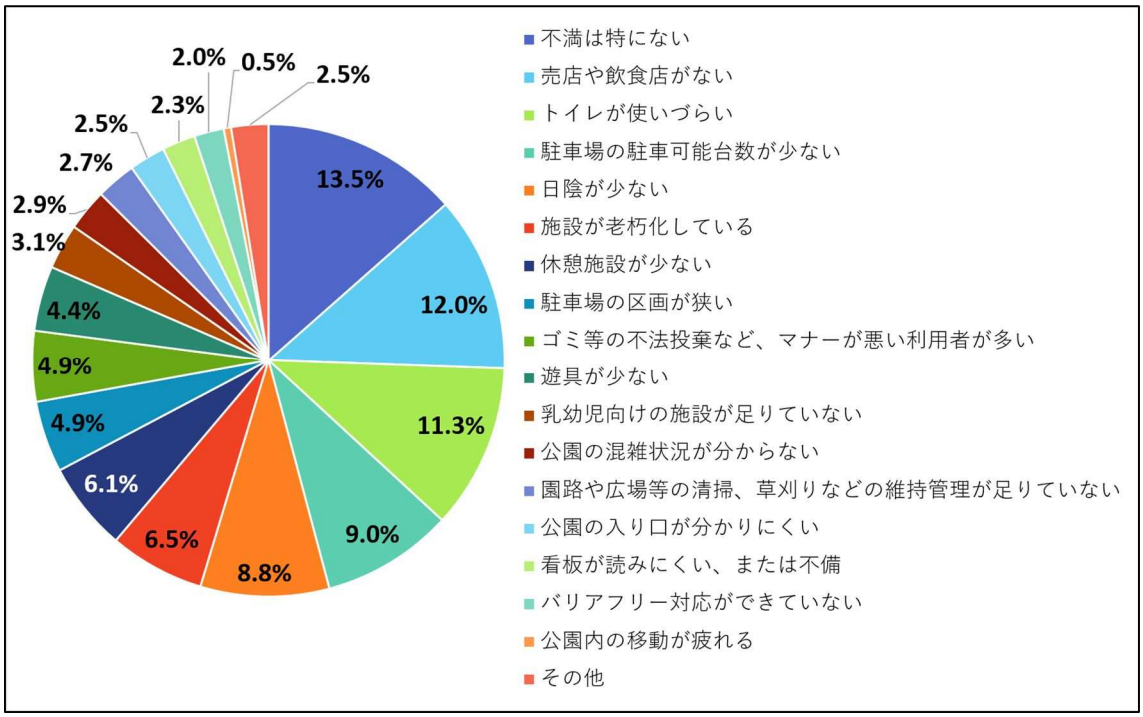


図　利用する公園の気になる点

＜考察＞

利用者は、物販・飲食施設、使いやすいトイレや駐車場、日除け施設などの充実を求めていることが伺えます。

●公園を利用しない人・利用できない人の主な理由

アンケートの自由記述より、公園を利用しない人・利用できない人の主な理由は、**“子どもの成長やライフスタイルの変化に伴い、公園との関わりが希薄化したことや、距離的な制約によって来訪機会が限定されている”**ことが伺えました。

＜アンケート結果（自由記述の抜粋）＞

・子どもが大きくなり、公園へ行く機会がなくなった。
・自宅から公園が遠いため行きにくい
・公園は子供たちの遊び場だと思うので、年寄りは出来るだけ散歩などで一般の道をひたすら歩くことにしている。
・成人女性が利用するタイミングがない。

＜考察＞

全体として、利用する機会や目的、理由など、公園利用の動機づけが認識されにくい傾向にありました。“公園が遠い”に関しては、公園までの距離が来園のハードルとなっている一方で、その距離を上回る魅力や価値が感じられにくい場合があると考えられます。

また、子どもが小さい頃は利用していたが、子どもが成長して利用しなくなってしまった、子どもがいないから利用しないなど、“子どもが利用する場所”として認識されていることがあり、“利用する機会や目的がない“理由のひとつと考えられます。

その他、一人では行きづらい、公共交通で行けない（交通手段がない）、体調不良、体力低下、老化により出かけられなくなった、などの回答がありました。

●子どもたちが公園に期待すること

今回のアンケート調査とは別に、子どもたちの意識や状況等を把握するため、県内の小学 1 年生～大学生世代の約 3,000 人のみなさまを対象とした「滋賀の子どもの声調査」を実施しました。

＜滋賀の子どもの声調査概要＞

【 名　称 】滋賀の子どもの声調査
【 目　的 】県内の子どもたちの意識や状況、思い等を様々な観点から把握
【 方　法 】WEB 調査
【 対　象 】県内の小学 1 年生～大学生世代
【 回答数 】3,078 件（うち公園に関する自由記述回答数：1,463）
【 期　間 】令和 7 年 7 月 1 日（火）～7 月 31 日（木）
【 内　容 】①あなたのこと　②滋賀県についてあなたが考えること

表　質問内容

種別	内　容	回答形式
①あなたのこと	性別	選択回答
	学年・世代	選択回答
②滋賀県についてあなたが考えること	地球温暖化を防ぎながら暮らしやすい社会にするために、なにができるだろう？	自由記述
	滋賀県のびわ湖や自然は将来どうなってほしい？	自由記述
	みんなが安心して笑顔で暮らせるまちってどんなまち？	自由記述
	みんなが考える男女平等ってどんな社会？ そんな社会にするためにどんなことが大切？	自由記述
	農業や水産業のことをどう思う？ これからも続けていくためにはなにが大切？	自由記述
	どんな公園に行ってみたい？	自由記述

子どもたちは、**“滑り台やブランコなどの遊具やアスレチック、楽しめる・遊べるイベント”**などを求めている傾向が伺えました。

＜アンケート結果（自由記述の抜粋）＞

・大きい公園、楽しい公園、わくわくする公園がいい。
・屋台やキッチンカーなど、食べ物が売っているスペースがあり、子どもから大人までみんなが楽しめるイベントや季節に合うお祭りが開催されている公園がいい。
・キレイなトイレや休憩スペース、自動販売機がある快適な公園がいい。
・夏でも公園を楽しめるように、大きな屋根や室内で遊べる場所、涼める休憩場所、涼めるじゃぶじゃぶ池がある公園を作ってほしい。
・遊具や水遊びなどの遊び場、ボール遊びや色々なスポーツができる場所、静かに座って過ごせる場所、自然と触れ合える場所を作ってほしい。

＜考察＞

全体として、遊具や広場、プール、水遊びなどの「遊び場」や、季節のお祭りなど「イベント」を求める声が多くありました。加えて、“誰もが”“安心して利用できる”公園であってほしいと望む傾向がありました。

また、トイレやごみ箱などの衛生面を気にする声がありました。

３章　THE シガパークの目指す姿

公園への期待と課題で整理したとおり、公園は多様な役割を担っており、私たちが日々の暮らしの中で憩い、心地よい時間を過ごす場であるとともに、多様な生きものが息づくかけがえのない空間です。

そのため THE シガパークは、「自然そのものも健康になる」という視点を大切にしながら、私たちの暮らしと心、そして自然や地域が豊かにつながる未来を目指します。そして、私たちの誰もが「自分の居場所」と感じられ、誇りを持って次世代へ引き継いでいけるよう、THE シガパークが目指す姿を以下のように定めるとともに、そのイメージを図として表現しました。

琵琶湖を中心に、
人の暮らしと心、自然が健やかになる
“THE シガパーク”

すべての人の憩い・交流・体験の場として、
子どもたちが美しい自然の中で、
健やかに遊び、学ぶことができる場として、
すべての生きものの生息・生育環境として、

琵琶湖を中心に、滋賀県全体が
水と緑と人でつながる一つの大きな公園となり、
人の暮らしと心、自然環境や生きものが
健やかになる姿を目指します

※下書き段階であり、今後ブラッシュアップ予定

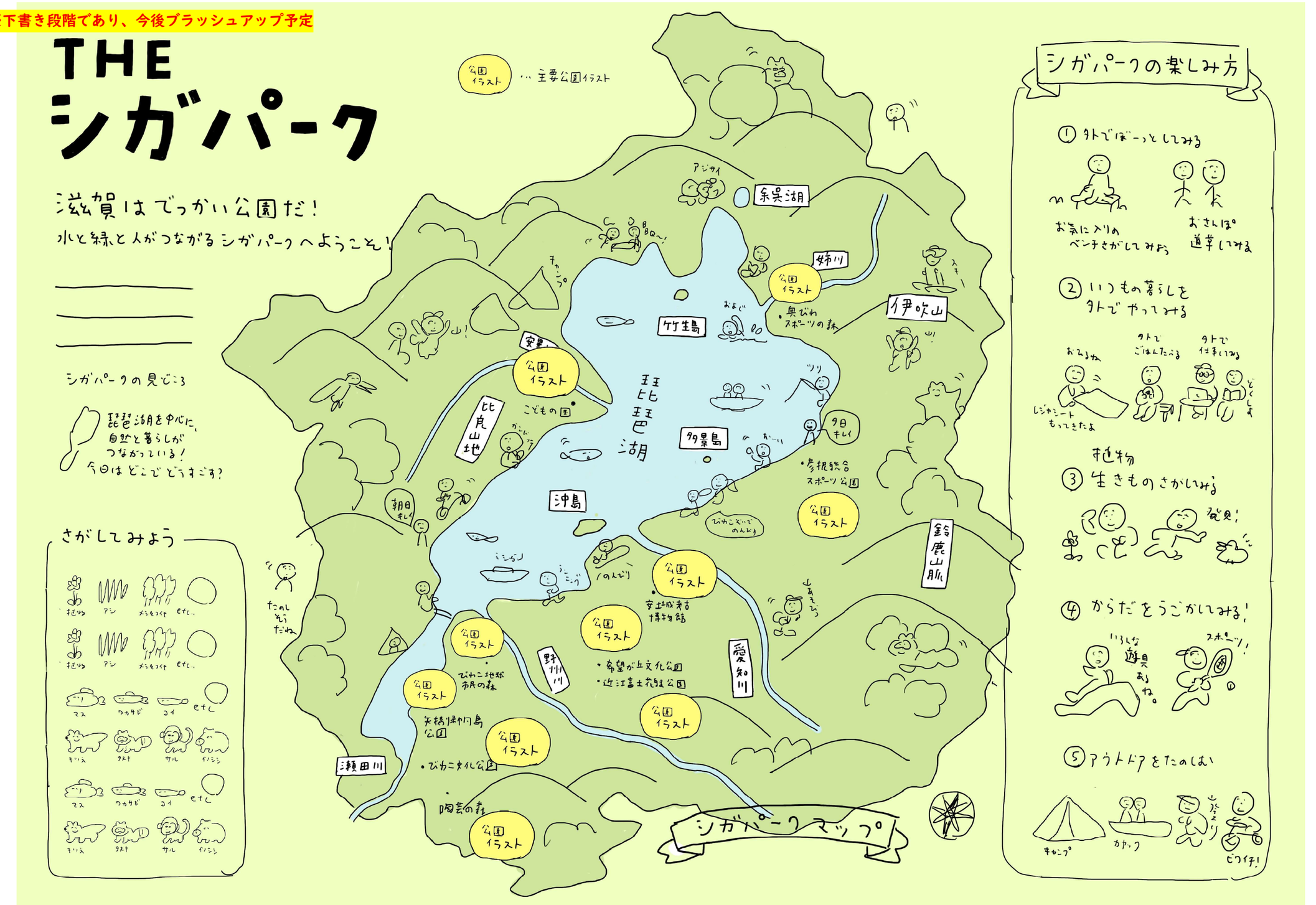


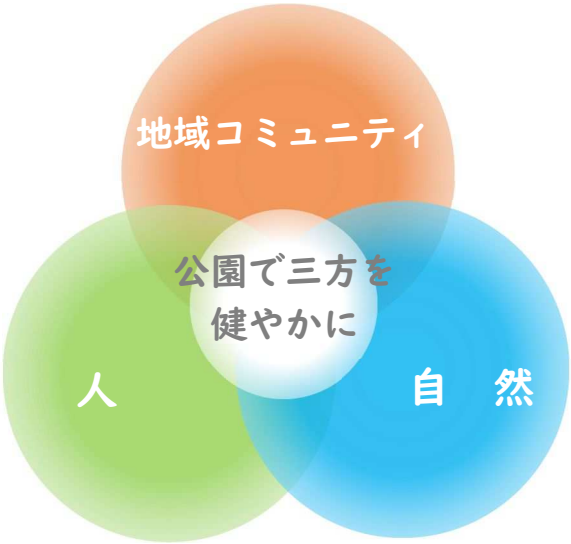
図　THE シガパークの目指す姿

4章　基本理念と取組方針

4.1.基本理念

THE シガパークの目指す姿を実現させるため、基本理念を、以下のように定めます。

県内の公園どうしが互いにつながり、
人、自然、地域コミュニティをつないで、
三方が健やかになる公園を次世代に継承する



県全体を大きな公園ととらえ、THE シガパークを構成する公園が持つ、憩い、スポーツ、文化、歴史、レクリエーション等の機能や特徴に応じた役割・機能を果たすことを目指します。これにより全体として「一つの大きな公園」となる姿を目指し、シビックプライドを醸成するとともに、県民共有の宝として次世代へ継承します。

〇人　：地域の人々はもとより、県外からの観光客等、あらゆる人々による広域的な利用を想定する。また、取組にあたっては、官民連携を活用するなど多様な主体との連携を図る。
〇自然：生物生息空間の保全・創出を通して琵琶湖を中心とする生態系ネットワークとしての機能の発揮するほか、雨水貯留・浸透機能の維持向上等のグリーンインフラとしての機能をいかし、さまざまな課題の解決に向けて取り組む。
〇地域コミュニティ：公園の活用を通したコミュニティ形成、公園を核とした地域づくりに取り組む。

4.2.取組方針

２章で整理した公園への課題と課題を踏まえ、THE シガパークの目指す姿を実現させるための視点及び取組は以下の通りです。

〇3 つの視点

美：うつくシガパーク

滋賀の美しい自然や景観の保全をはじめ、トイレなどの公園施設の美しさ、利用者の美しい利用マナーの推進など、「美しい公園」への取組

優：やさシガパーク

子ども、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが利用しやすくなると共に、鳥や虫などの動物や草花など、全ての生きものを含めた自然環境も大切にする、「優しい公園」への取組

楽：たのシガパーク

ふらっと訪れただけで気持ちが楽になり、THE シガパークでしか見られないもの、体験できないことが充実していて、楽しい時間を過ごすことができる、「楽しい公園」への取組

〇スリーアップの取組

レベルアップ＜機能向上と利便性向上＞：

それぞれの公園の特徴や魅力を高める施設整備を進めるとともに、トイレなどの快適な利用環境の充実や、利用者の利便性向上につながる取組。

タイアップ＜共創＞：

民間事業者の活力やノウハウを活かした取組を進めるとともに、市町や民間施設と連携したイベントや情報発信、ネーミングライツや寄付制度の活用など、多様な主体との協働による公園づくり。

チームアップ＜連携＞：

公園の魅力をより多くの人に届けるため、ポータルサイトでの情報発信や、公園同士が連携したイベント、共通看板の設置などの取組。

公園を取り巻くさまざまな課題に対し継続的に対応しながら、多機能化、利便性向上や高付加価値化を図るとともに、安全で快適かつ、将来にわたって持続可能なマネジメントに取り組みます。

公園の課題
公園に対する思い・期待

自然環境の保全、公園の適正利用や美化に関する期待と課題

【課題】
・地球環境問題（温暖化、異常気象等）への取組
・時代の変化に合わせた魅力ある公園
【思い・期待】
・滋賀の公園の魅力として「散歩や散策ができる」、「風景がきれい」、「動植物が多く生息するなど自然が豊か」との意見が多数
・施設の充実

多様な利用者への配慮や自然との共生等に関する期待と課題

【課題】
・市民・民間事業者の意識変化
・人口減少・少子高齢化社会への対応
・利用者の視点に配慮した公園づくり
・公園への交通アクセス
・自然環境の保全と利用のバランス
・気候変動に伴う夏の利用環境と安全性の確保
【思い・期待】
・公園での思い出はライフステージごとに積み重なり、人生を豊かにしている。
・子供の成長やライフスタイルの変化に伴う公園との関わりの希薄化
・距離的な制約による来訪機会の限定

交流やコミュニティ形成に関する期待と課題

【課題】
・新型コロナの感染拡大を経たニューノーマル社会への対応
・社会構造変化による孤独・孤立、コミュニティ衰退への対応

【思い・期待】
・県外利用者は「非日常としての体験」を、県内利用者は「日常の延長としての利便性や快適性」を求める傾向
・公園は自由な空間として、多様な人や利用を受け入れ、出会う場
・子どもたちは、遊具やアスレチック、楽しめる・遊べるイベントを期待

3つの視点

【美】 うつくシガパーク

滋賀の美しい自然や景観の保全をはじめ、トイレなどの公園施設の美しさ、利用者の美しい利用マナーの推進など、「美しい公園」への取り組みを進めます。

【優】 やさシガパーク

子ども、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが利用しやすくなると共に、鳥や虫などの動物や草花など、全ての生きものを含めた自然環境も大切にする、「優しい公園」への取り組みを進めます。

【楽】 たのシガパーク

ふらっと訪れただけで気持ちが楽になり、THEシガパークでしか見られないもの、体験できないことが充実していて、楽しい時間を過ごすことができる、「楽しい公園」への取り組みを進めます。

スリーアップの取組

レベルアップ
＜機能強化と利便性向上＞

・【魅力事業】
・それぞれの公園が特徴と魅力を伸ばすための施設整備、公園再整備
・【ベース事業】
・利用者が快適に過ごせるための施設整備
・地域の安心・安全を支える防災機能の強化
・公園DX
・利用者の利便性向上、適正利用に資する取組　　等

タイアップ
＜共創＞

・【ボランティア・地域コミュニティ活動】
・各公園の活動団体・地域コミュニティ活動との多様な形での協力関係の構築
・公園利用者が公園に気軽に関われる仕組みの構築
・【公民連携、寄附】
・PPP/PFI、寄附等を活用した民間との連携
・メーカーや企業、地元団体、市町等と連携したタイアップイベントの実施
・【市町の公園・民間との連携】
・市町の公園や民間のオープンスペース、周辺施設等と連携したイベントや広報の実施
等

チームアップ
＜連携＞

・【一体的広報・イベント連携】
・ポータルサイトでの一体的な広報や、魅力プロモーション
・公園同士が連携したイベントの実施や共通サインのデザイン
・【県の施策との連携】
・滋賀県の各種施策と連携したビュースポット整備、自然共生サイトへの登録継続など
・【市町との連携】
・市町と情報や技術、利用ルールの現状を共有
・維持管理運営の共同実施導入検討　　等

・造園技術者の確保と新たな管理体制の構築

造園技術者の確保と新たな管理体制の構築については、公園管理者が常に取り組んでいくべき重要課題と位置付け、社会や技術の変化に対応し、柔軟かつ継続的に対応し上記の取組を下支えする。

図　公園への課題と期待を踏まえた、ＴＨＥシガパークの取組方針

５章　THE シガパークの実現に向けて

5.1.市町・民間・地域コミュニティ等との連携

県全体を一つの大きな公園としてつなげていくためには、県の公園だけでなく、地域の身近な市町の公園や、民間・地域が管理する多様な緑の空間が、それぞれの垣根を越えて連携していくことが望まれます。

このため、THE シガパークの趣旨に賛同し、ともに参画・連携が可能な公園等については、広く THE シガパークを構成する公園へ含めていく予定であり、公園を管理する市町や事業者への呼びかけを行っていきます。

令和５年度から庁内の部局横断で進めてきた THE シガパークの取組をベースに、県民への広報や、民間事業者との連携の取組をすすめることで、県民や公園利用者、関係者等とともに、市町や民間施設、地域コミュニティなども含めた共創による取組（みんなでつくる THE シガパーク）に深化します。



図　みんなでつくる　THE シガパークのイメージ

5.2. THE シガパークを構成する公園の魅力向上

THE シガパークを構成する公園では、各公園が一定の水準を満たすための整備を進めることや、統一感のあるデザインによる整備を行うなど、共通する取組を行うとともに、個別の公園特性に応じた取組を進めることにより、それぞれの公園の役割・機能を最大限に発揮して、総体として１つの大きな公園となる姿を目指します。

表　THE シガパークを構成する公園の特徴

公園名　＼　公園の特徴		大切な自然を守り・引き継ぐ公園	子供が安心して遊び・学べる公園	多くの人が集まる賑わいのある公園	体力づくり・スポーツに励める公園	文化・芸術や歴史に触れる公園	その他
湖岸緑地	都市公園	○	○	◎			
びわこ文化公園		○	○	◎		○	
びわこ地球市民の森		◎	○	○			
奥びわスポーツの森		○	○	○	◎		
春日山公園		◎	○	○			
尾花川公園			◎				
彦根総合スポーツ公園				○	○		◎ 大会やイベントで人が集まる
希望が丘文化公園	条例公園	○	○	◎	○		
矢橋帰帆島公園		○	○	○			◎ 地域住民サービスの向上
苗鹿公園			○		○		
近江富士花緑公園		○	◎				
陶芸の森		○	○	◎		◎	
安土城考古博物館				○		◎	
きゃんせの森		◎					
びわ湖こどもの国	児童厚生施設		◎	○			
自然公園	自然公園	◎					
上記のうちの岡山園地		◎					
上記のうちの新旭浜園地		◎					
こんぜ天馬の森	―	◎					
奥びわ湖・山門水源の森		◎					

◎：最も当てはまる特徴　○：当てはまる特徴

各公園の取組は、それぞれの公園管理者が公園ごとの役割や特徴を踏まえて、THE シガパークビジョンに基づき、必要に応じて管理・運営計画等を策定・改訂し、具体的な取組につなげていきます。

第 I 期行動計画 2030 では、第 I 編 THE シガパークビジョンをもとに、現時点で実施を予定している具体的な取組を行動計画として示します。

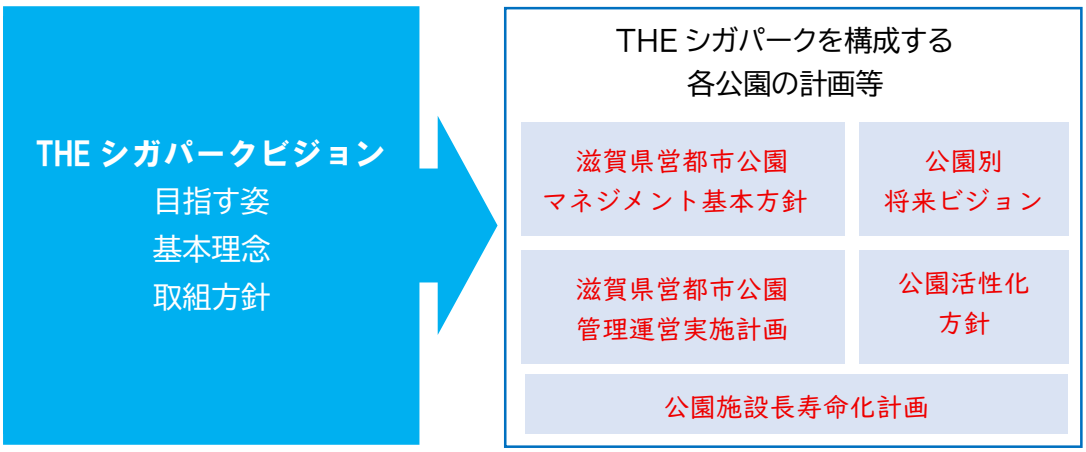


図　THE シガパークビジョンから各公園の計画等への展開

5.3. THE シガパークビジョンの見直し等

THE シガパークビジョンは必要に応じて 10 年に 1 回程度の見直しを予定しています。

行動計画は、5 年に 1 回策定し、必要に応じて順応的に見直していく予定です。

THE シガパークは、「滋賀県全体が水と緑と人でつながる一つの大きな公園となった姿」と定義していますが、そこには更なる可能性があると考えます。様々な公園だけでなく、山や川、都市や農地、生活空間などと一つの大きな公園としてネットワークを構築することも考えられます。そして、生態系ネットワークの強化や、人と自然の新たな出会いや関係を構築する場として、人々や人と社会をつなぐ現代社会の新たなコモンズ※8として、機能を発揮することも想定されます。

将来、THE シガパークビジョンを見直す際、このような可能性にも目を向けて検討します。

※8 コモンズ：地域の人々が共に利用し、管理・維持していく共有の場（空間・資源）。本ビジョンでは、特定の誰かのものではなく、人・自然・社会が豊かに関わり合うための基盤となる場を指します。

第Ⅱ編　第１期行動計画 2030

１章　行動計画の概要

行動計画は、THE シガパークビジョン（第Ⅰ編）を実現するために、５か年サイクルで策定します。 第Ⅰ期の対象期間は、2026～2030 年とします。

THE シガパークビジョン

・第Ⅰ編　THE シガパークビジョン

時代を超えた公園の将来の目指す姿や基本理念

20～30 年後に次の世代に引き継ぐための取組方針

・第Ⅱ編　行動計画

THE シガパークビジョンを実現するための行動計画

（５か年毎に策定）

＜構成と対象期間のイメージ＞

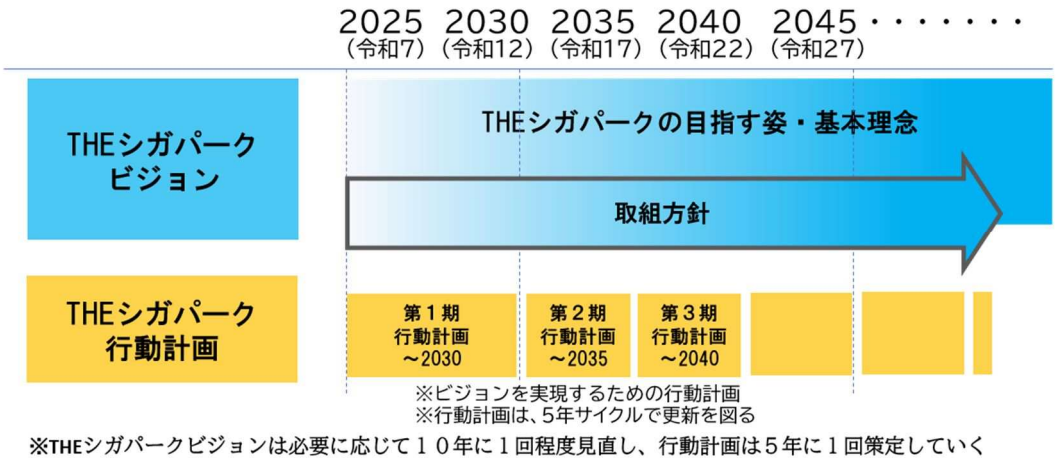


図　行動計画の構成と対象期間

2章　2030 年の目標

THE シガパークビジョン（第 I 編）を実現するため、行動計画の第 I 期においては、公園施設の充実への期待を踏まえ、時代の変化に合わせた魅力ある公園や利用者の視点に配慮した公園づくりの課題に対応し、レベルアップ＜機能強化と利便性向上＞の取組のうち、「ベース事業」として利用者が快適に過ごせるための施設整備に取り組みます。中でも、公園の利用者が最初に接する施設で、快適性、安全性、満足度に大きく影響するトイレ、駐車場、看板を「おもてなし施設」と位置付け、これらの整備を重点的に進めることとします。

また、ボランティアや地域コミュニティ活動のほか、公民連携などの共創の取組を進めることとします。

これらをふまえて、2030 年の目標を以下に定めます。

◆2030 年の目標

総合指標

THE シガパークの認知度向上と公園利用者数の増加

A アンケートによる認知度：50%（2025 年時点：15%）

B 年間利用者数：　万人（※今後記入）

個別指標

【レベルアップ】

利用者が快適に過ごせるための施設整備

①デザインコードの策定

②トイレ整備：43 箇所

③フラッグシップトイレの整備：1 箇所

④駐車場整備：12 箇所

⑤看板整備：51 箇所

それぞれの公園が特徴と魅力を伸ばすための施設整備

⑥2 箇所（希望が丘文化公園、奥びわスポーツの森）

【タイアップ】

民間事業者、地域コミュニティ等との連携・協力体制の構築

⑦THE シガパークパートナー制度※9の活用：10 件

【チームアップ】

市町の公園との連携

⑧THE シガパークを構成する公園数の増加：5 箇所

⑨市町の公園と連携したイベントの開催：10 件

※9 THE シガパークパートナー制度：民間事業者や市民団体等と協働・共創して公園を活性化させるための制度で、賑わい創出や施設の維持管理に資する活動を実施する【活動型】と魅力向上や施設の維持管理に対する費用の寄附をする【寄附型】があります。

３章　実施内容とロードマップ

第Ⅰ期行動計画では、「レベルアップ」、「タイアップ」、「チームアップ」のスリーアップの取組をベースに、公園をとりまく課題解決や、個人や各主体が自分事として公園に関わることができるように項目を定め、順応的な見直しをしながら進めていきます。

なお、造園技術者の確保や新たな管理体制の構築については、公園管理者が常に取り組んでいくべき重要な課題と位置づけ、社会や技術の変化に対応し、最新の技術を導入するなど、柔軟かつ継続的に対応していきます。

3.1.レベルアップ

（１）魅力事業

◆それぞれの公園が特徴と魅力を伸ばすための施設整備、公園再整備

運動施設の整備、スケートボードパークの開設など、各公園の特徴や魅力を活かす施設の整備・再整備を実施していきます。

また、ビワイチと連携し、園路や琵琶湖沿いのビュースポットの整備などを進めます。

（２）ベース事業

◆利用者が快適に過ごせるための施設整備

快適に利用できるトイレ、自動車利用が多い県営公園等の特性を受けた駐車場、迷うことなく利用できるための看板について、「おもてなし施設」として一定の水準を満たした状態となるよう、THE シガパークビジョン共通のデザインコードを定め、それに基づき施設のレベルアップを図ります。

また、近年の過酷な暑さから利用者の健康と安全を守るため、暑熱対策施設の整備を進めます。あわせて、誰もが快適に利用できるユニバーサルデザインの視点を取り入れるとともに、利便性向上が図れるよう利用ルールの見直しを図ります。

◆地域の安心・安全を支える防災機能の強化

地域や防災部局と連携しながら、各公園の防災上の役割に応じた対応を行っていきます。

◆公園 DX

公園管理運営において、駐車場への WEB カメラの設置や駐車状況の配信を行うなど、デジタル技術やデータを活用し、公園管理者の業務効率化と利用者サービスの向上等を図ります。

◆利用者の利便性向上、適正利用に資する取組

利便性向上、適正利用に向けて、ゲート式駐車場の暫定導入や公園利用ルールの見直しなどの取組を行います。

3.2.タイアップ

（１）ボランティア・地域コミュニティ活動

◆各公園の活動団体・地域コミュニティ活動との多様な形での協力関係の構築

ボランティアや地域団体との連携を進め、イベント、環境教育、自然を活かした校外学習や企業研修などを受け入れ、官民連携による活用を図ります。

◆公園利用者が公園に気軽に関われる仕組みの構築

普段活動をしている団体の他、公園利用者が気軽に公園に携われる仕組みを検討します。

（２）公民連携、寄附

◆PPP/PFI、寄附等を活用した民間との連携

P-PFI の検討を視野に入れ、公園利用者に最も期待されていたカフェや飲食店などの設置や官民連携によるリニューアルや管理運営を進め、事業者と利用者がつながる新たな場として位置づけます。

また、公園に対する寄附、クラウドファンディングやネーミングライツの導入などによる収入確保を図り、官民連携による施設整備や管理運営の工夫につなげます。

◆イベント開催等による公園の利活用

メーカーや企業、地元団体、市町等と連携したタイアップイベントの実施により、公園の魅力発信と賑わい創出を図ります。

（３）市町の公園・民間との連携

◆市町の公園・民間のオープンスペースとの連携（イベント、広報）等

公園の魅力向上、地域の回遊性向上に向けて、市町の公園や民間のオープンスペース、周辺施設等と連携したイベントや広報を実施します。

3.3.チームアップ

（１）一体的広報・イベント連携

◆ポータルサイトでの一体的な広報や、魅力プロモーション

THE シガパークポータルサイトを活用したイベント等の一体的広報や、観光部局・市町などとの連携した情報発信を行います。

◆公園同士が連携したイベントの実施や共通サインのデザイン

公園間で連携したイベントの開催や、共通したデザインの看板などを設置することで、THE シガパークの一体的なプロモーションを実施します。

（２）県の施策との連携

◆県の施策との連携

滋賀県の各種施策と連携し、ビュースポット整備、環境省の自然共生サイトへの登録などを通じて、公園の付加価値を向上させていきます。

（３）市町との連携

◆市町との連携

市町と情報や技術、利用ルールの現状を共有し、公園機能の更なる充実を図ります。

また、維持管理運営の共同実施（地域インフラ群再生戦略マネジメント：群マネ）の導入についても検討します。

3.4.ロードマップ

「レベルアップ」、「タイアップ」、「チームアップ」のスリーアップの取組に基づく実施内容について、2030 年までのスケジュールをロードマップで示します。

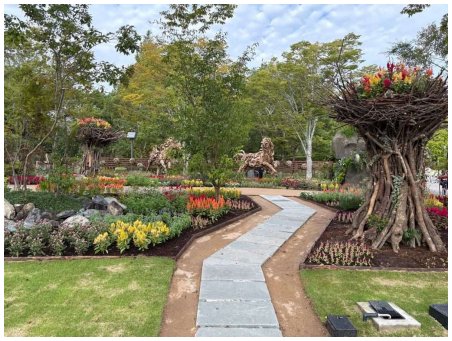
【2030 全国都市緑化フェアの開催】

滋賀県と草津市は、令和 12 年（2030 年）の全国都市緑化フェア開催を目指しています。

全国都市緑化フェアは国内最大級の花と緑の祭典で、滋賀県内での開催は初めてになります。令和 12 年（2030 年）は THE シガパークビジョン第 1 期行動計画 2030 の目標年度であり、この節目の年にフェアを開催することで、県内の取組を全国に発信します。

開催後は、人、自然、地域コミュニティの三方が健やかになる THE シガパークの推進に加え、草津市のモデルを活かしたまちづくりや、県内の都市緑化推進へとつなげていきます。

（参考）第 43 回全国都市緑化フェア in 京都丹波（令和 8 年度）　会場の様子





亀岡運動公園メインガーデン（アート作品）

レベルアップ（1/3）

（★）複数のスリーアップに関連する取組

NO	実施場所	取組	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030時点の見込み
1	湖岸緑地	**■適正利用の取組** （★タイアップにも該当） ・ゲート式駐車場の暫定導入等 ・利用ルールの見直し（民間活用による予約制バーベキュー・キャンプ場の導入検討等）	→	→	→	→	→	継続
2		**■利用者の快適性の向上** （草津市） ・THE シガパークを象徴するような「行ってみたくなる」魅力あるトイレ（フラッグシップトイレ）の整備	→	→	→	→		完了
3		**■利用者の快適性の向上** （草津市・守山市） ・トイレの整備（8 か所） ・駐車場の拡張（5 か所）	→	→	→	→	→	継続
4		**■魅力向上に向けた施設整備** （彦根市・米原市・長浜市） （★チームアップにも該当） ・なぎさ園路整備、ビュースポット整備（4 か所・南三ツ谷、薩摩、宇賀野、さいかち浜）	→	→	→	→	→	完了
5	湖岸緑地・自然公園等	**■公園 DX** ・駐車場への WEB カメラの設置 ・駐車状況の配信	→	→	→	→	→	継続
6	びわこ文化公園	**■アートに親しめる環境整備** （★チームアップにも該当） ・滋賀県立美術館等と一体となった整備	→	→	→	→	→	継続
7	びわこ地球市民の森	**■魅力向上に向けた施設整備** （★タイアップにも該当） ・民営カフェの設置（2 か所）	→	→	→	→	→	継続
8	奥びわスポーツの森	**■施設の運用変更による暑熱対策** ・暑熱対策のための休憩スペースの確保	→	→	→	→	→	継続
9		**■魅力向上に向けた施設整備** ・スケボーパークの整備・開設	→					完了

レベルアップ（2/3）

（★）複数のスリーアップに関連する取組

NO	実施場所	取組	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030時点の見込み
10	奥びわスポーツの森	■老朽化に伴う一部エリアの再整備 ・体育館跡地およびテニスコート周囲の再整備 ・暑熱対策のための全天候型運動施設設置						完了
11	彦根総合スポーツ公園	■新たな施設整備 （★タイアップにも該当） ・公園内緑の広場整備・P-PFI 検討						完了
12		■新たな施設整備 ・運動施設（庭球場）の整備						完了
13	希望が丘文化公園	■防災機能の向上 ・橋梁（希望の橋）の耐震化						完了
14		■利用者の快適性の向上 ・園内５か所の屋外トイレの改修、園内看板の更新 ・芝生ランドの芝生再整備						完了
15		■官民連携による整備、管理運営 ・PFI 方式による整備、管理運営の実施						継続
16	矢橋帰帆島公園	■利用者の安全性・快適性の向上 ・公園遊具のリニューアル ・公園園路の整備						完了
17		■利用者の快適性の向上 ・園内９か所の屋外、屋内トイレの改修						完了
18		■利用者の快適性の向上 ・老朽化した大駐車場の改修						完了
19	近江富士花緑公園	■官民連携による新たな施設整備 （★タイアップにも該当） ・ネーミングライツ料による公園内の森林整備						継続

レベルアップ（3/3）

（★）複数のスリーアップに関連する取組

NO	実施場所	取組	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030時点の見込み
20	近江富士花緑公園	■魅力向上への取組 ・木育施設「しがモック」の活用						完了
21		■利用者の快適性の向上 ・園内６か所のトイレの改修 ・植物園駐車場の改修						完了
22	自然公園・湖岸緑地（岡山園地・新旭浜園地）	■官民連携による魅力向上 （★タイアップにも該当） ・民間連携のモデル事業によるリニューアルの実施						継続
23	陶芸の森	■利用者の快適性の向上 ・トイレ改修 ・看板整備 ・駐車場整備　等						継続
24	こんぜ天馬の森（県民の森）	■利用者の利便性の向上 ・駐車区画増設の検討						完了
25	THE シガパークを構成する公園	■利用者の快適性の向上 ・統一的なデザインの方向性（デザインコード）によるトイレ、駐車場、看板の整備						継続
26		■利用者の利便性の向上 ・ライドシェア等の新たな移動手段の導入やデジタル技術の活用により、シガパークへのアクセスや周遊の利便性向上を図る。 ・モビリティマネジメントや駅前イベント、観光キャンペーン等を通じて、公共交通を利用したシガパークへの来訪を促進する。						継続

タイアップ（1/2）

（★）複数のスリーアップに関連する取組

NO	実施場所	取組	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030時点の見込み
1	奥びわ スポーツの森	■官民連携による整備 ・ネーミングライツ料による公園内の施設整備						継続
2	びわ湖 こどもの国	■官民連携による整備、管理運営 ・ネーミングライツ導入検討						継続
3	陶芸の森	■官民連携、県市連携による公園機能の充実 ・甲賀市や地元団体と連携したイベント実施						継続
4	安土城考古博物館（近江風土記の丘）	■魅力の伝承 （★チームアップにも該当） ・安土城築城450年祭によるイベントの実施 ・地元市や観光部局との連携						完了
5	こんぜ 天馬の森（県民の森）	■官民連携による整備、管理運営 ・ネーミングライツの導入						継続
6	きゃんせの森	■官民連携による整備、管理運営 ・ネーミングライツの募集						継続
7	奥びわ湖・山門水源の森	■官民連携による整備、管理運営 ・ネーミングライツの導入						継続
8		■官民連携による活用 ・校外学習、企業研修等の受け入れ						継続
9	THE シガパークを構成する公園	■官民連携による整備、運営の工夫 ・滋賀応援寄附、企業版ふるさと納税、クラウドファンディング、ネーミングライツパートナーによる収入確保						継続

タイアップ（2/2）

（★）複数のスリーアップに関連する取組

NO	実施場所	取組	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030時点の見込み
10	THE シガパークを構成する公園	■魅力向上に向けた官民連携 ・THE シガパークパートナーの登録						継続
11	湖岸の公園	■魅力向上に向けた官民連携 ・湖岸公園全体計画の策定 ・湖岸公園全体計画に基づく民間活用に向けた検討						継続

チームアップ

NO	実施場所	取組	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2030時点の見込み
1	陶芸の森	**■県市連携による魅力発信** ・甲賀市と連携した情報発信						継続
2	こんぜ 天馬の森 (県民の森)	**■官民連携による魅力向上、市町との連携** ・周辺施設と連携した広報						継続
3	奥びわ湖・ 山門水源の森	**■県施策との連携** ・自然共生サイトへの登録を継続し、生物多様性しが戦略 2024 の目標達成に貢献						継続
4		**■市町との連携** ・長浜市と連携した維持管理、イベントの開催						継続
5	THE シガパークを構成する公園	**■ビワイチ施策での活用** ・サイクリストのおもてなしスポットの設置（期間限定） ・自転車試乗体験会の実施 ・県の観光資源と公園等を繋ぐ周遊コンテンツの実施等						継続
6		**■自然に健康になれるまちづくり事業** ・「健康しが」共創会議等においてシガパークを絡めてテーマや企画を検討 ・「健康しが」ポータルサイトにてシガパークで開催される健康づくりに資する取組を広報						完了
7		**■琵琶湖博物館と実際のフィールドである公園をつなぐ広報** ・YouTube チャンネル等による動画発信による周遊促進						継続
8	伊吹山 （自然公園）	**■官民連携** ・植生復元工事の実施 ・地元市・自治会や保全団体、民間企業との連携						継続
9	自然歩道 （自然公園）	**■自然歩道の魅力発信** ・THE シガパークポータルサイトおよび冊子にて自然歩道の魅力発信 ・様々な利用者層を対象とした「一日モデルコース」の作成						継続

巻　末　資　料

- これまでの THE シガパークの取組
- 公園に関するアンケート調査結果
- THE シガパークビジョン検討委員会

● これまでの THE シガパークの取組

■レベルアップの取組

それぞれの公園の特徴や魅力を高める施設整備を進めるとともに、トイレなどの快適な利用環境の充実や、利用者の利便性向上につながる取組を進めています。

●THE シガパークベース事業（共通）

基本的な施設の魅力向上

快適なトイレ・わかりやすい看板・ゆとりある駐車場などへの更新を行っています。

Before



老朽化したトイレ



老朽化した案内看板



After



快適なトイレ



わかりやすい案内看板



図　おもてなし施設の魅力向上イメージ

●THE シガパーク魅力事業（個別）

各公園の特徴的な魅力をのばすための施設整備

スケートボードパークの整備や公園の特徴を活かした活性化事業、遊具のリニューアルなどを行っています。

スケートボードパーク整備

滋賀県では、国スポ（第 79 回国民スポーツ大会）・障スポ（第 24 回全国障害者スポーツ大会）大会に合わせて、昨今日本人選手の世界的な大活躍により人気が高まっているスケートボードについて、県内でも本格的に楽しめる場所の整備に取り組んできました。

大小さまざまなセクション（構造物）が設置され、初級者から上級者、大人から子どもまで幅広く楽しんでいただけます。




図　春日山公園　スケートボードパーク







図　奥びわスポーツの森　スケートボードパーク

希望が丘文化公園　活性化事業

希望が丘文化公園は、開園から 50 年以上経過しており、より多くの方にご来園いただけるよう、青少年宿泊研修所（青年の城）の建て替えを含めた施設整備を令和９年度から順次実施し、令和 12 年度中の新宿泊研修施設の開業を目指しています。



図　希望が丘文化公園活性化のイメージ図

矢橋帰帆島公園　子どもの広場遊具リニューアル

矢橋帰帆島公園「子どもの広場」は、より魅力的な「子どもの広場」にするため、令和６年度からリニューアル計画を進めています。

全面リニューアルオープンは、令和９年３月を予定しています。



図　矢橋帰帆島公園　子どもの広場　完成イメージ図

■タイアップの取組

民間事業者の活力やノウハウを活かした取組を進めるとともに、市町や民間施設と連携したイベントや情報発信、ネーミングライツや寄附制度の活用など、多様な主体との協働による公園づくりを進めています。

「三方よしの THE シガパーク PPP」をモットーに、利用者、民間事業者、公園（公園管理者）の皆にメリットがある協働・共創を目指しています。

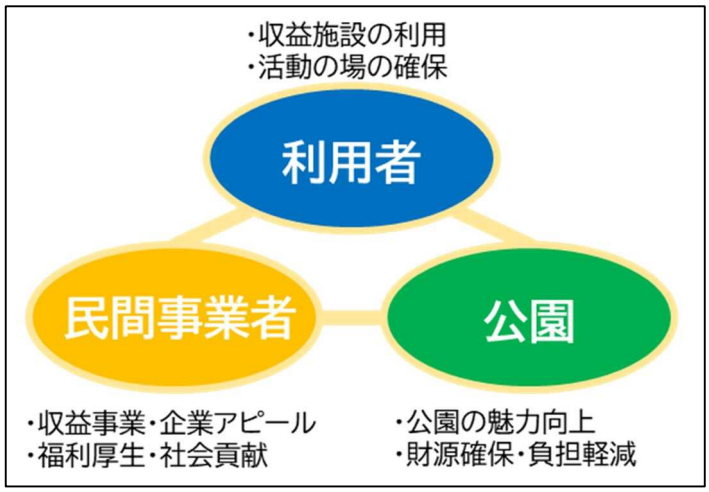


図　三方よしの THE シガパーク PPP

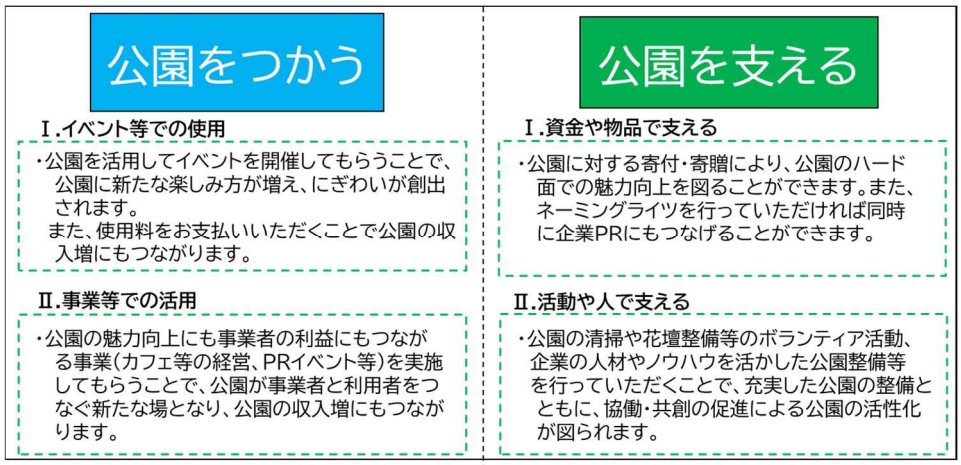


図　三方よしの「THE シガパーク」

「THE シガパーク」の実現に向けた民間協働の取組については、民間事業者の皆様に一方的な負担を強いるものではなく、公園、民間事業者、利用者の誰にとってもメリットがある「三方よし」の取組を目指しています。

●THE シガパーク企業フォーラムの開催（R7.7.1）

民間事業者等との協働を拡げていくため、「公園を使ってできること」「公園のためにできること」を共有し、もっと「使いやすく」「支えやすく」するにはどうするべきか?を一緒に考え、三方よしの公園を一緒に育てていく、「きっかけづくり」となりました。

実施概要



【日時】令和７年７月１日(火)
14:00～17:15
【会場】滋賀県庁東館７階大会議室
【定員】100 名（参加無料）
【開催内容】
・THE シガパーク取り組み説明
・基調講演「企業と公園の未来について」
兵庫県立大学赤澤宏樹 教授
・事例紹介「公園をつかう」
「公園を支える」
・パネルディスカッション
「企業と THE シガパークの可能性について」
・交流会「個別なんでも相談会」



図　THE シガパーク企業フォーラム開催の様子

●「THE シガパーク」公民連携のご案内の作成（R7.8）

企業とシガパークの協働の形を提案するパンフレットを作成しました。



図　「THE シガパーク」 公民連携のご案内

■チームアップの取組

公園の魅力をより多くの人に届けるため、ポータルサイトでの情報発信や、公園同士が連携したイベント、共通看板の設置などの取組を進めています。

●ロゴマーク・キャラクターの決定（R6.８.8）

デザインは誰でも描ける基本の形「●▲■」で構成することで、すべての人に様々な形で自由に「THE シガパーク」を楽しんでほしいという願いを込めています。



キャラクターは左から、

「水」　滋賀県が誇る母なる琵琶湖、

「緑」　公園の豊かな自然・大地、

「花」　四季折々の装いで目を楽しませてくれる植物、

「太陽」　公園の自然を育み、子どもたちを暖かく見守る光、

「愛情」　公園を利用する人の思いやりや自然を大切にする心

を表現しています。

●パンフレットの制作（R7.4.8）

さまざまな特徴を持った THE シガパークを４つのテーマに沿って紹介しています。

『1．自然に囲まれて、色んな体験が楽しめる』

『2．文化・芸術と歴史に触れ、ゆっくりくつろぐ』

『3．子どもと一緒に、遊びもスポーツも楽しめる』

『4．びわ湖の開放感を、思いっきり満喫する』

また、THE シガパークを世界へ発信し、インバウンドにも対応するため、英語版パンフレットも作成しています。



滋賀県



Shiga Prefecture



●THE シガパーク MOVIE の制作（R5.11.3）

県民参加型の動画募集企画「みんなで作る！THE シガパーク MOVIE 投稿キャンペーン」で応募のあった動画を活用して作成しました。



●Instagram の開設（R6.8.8）

THE シガパークの周知のため、THE シガパークの魅力やイベントを紹介しています。

URL：https://www.instagram.com/shigapark

アカウント：@shigapark

SHIGAPARK



●THE シガパークフェスタの開催（R6.11.3）

「THE シガパーク」の取り組みを広く知ってもらうきっかけとして、キックオフイベントを開催しました。

当日はメインステージの他、湖岸緑地の「流木アート」、陶芸の森の「ねんど作品作り」、びわこ地球市民の森の「モリック」など様々なブースが出展されました。







●大阪・関西万博　ブース出展（R7.6.26～27）

滋賀魅力体験ウィーク ～Discover Shiga, Go Lake Biwa～（関西パビリオン多目的エリア）にて、県内団体や企業、市町等の多様な主体の出展により、ワークショップや体験ブースで滋賀を体感する機会を創出しました。

その中で「健康しが」をテーマに令和７年６月２４日（火）～６月２９日（日）の間、しがの公園“THE シガパーク” ＰＲを出展しました。

滋賀ブース概要

◆イベント名：滋賀魅力体験ウィーク～Discover Shiga, Go Lake Biwa～

◆日程：[前期]　出展テーマ：健康しが
令和７年６月 24 日（火）～６月 29 日（日）
[後期]　出展テーマ：Mother Lake Goals（MLGs）
令和７年８月 27 日（水）～９月１日（月）

◆場所：万博会場内　関西パビリオン　多目的エリア





●シガパークめぐりデジタルスタンプラリーの開催（R7.11.14～ R8.2.28）

デジタルスタンプラリーの広範な参加を促すため、独自でサーバーを用意し、キャンペーン用の特設 Web サイトを設置しました。





●THE シガパーク LAKESIDE の制作（湖岸緑地 HP）

湖岸緑地公園の魅力を直感的、かつ、効果的に伝えられるよう、滋賀県ホームページ内に湖岸緑地ホームページ「THE シガパーク LAKESIDE」を制作しました。

●フォト＆ムービーコンテストの開催（R7.12.25～ R8.2.1 ）

すでに多くのファンがいる滋賀の公園。
その人たちが「シガパーク」という言葉を
通じて SNS で発信できる仕掛けとして、
フォト＆ムービーコンテストを開催しました。



●国スポ、障スポでの広報

国スポ（第 79 回国民スポーツ大会）、障スポ（第 24 回全国障害者スポーツ大会）の会場および駅案内所にてパンフレットを設置しました。

●公園紹介動画の制作

シガパークの魅力をもっと広げていけるよう、公園紹介プロモーション動画を制作しました。



10 公園（希望が丘文化公園／安土城考古博物館（近江風土記の丘）／彦根総合スポーツ公園／矢橋帰帆島公園／近江富士花緑公園／びわ湖こどもの国／陶芸の森／びわこ文化公園／びわこ地球市民の森／奥びわスポーツの森）のプロモーション動画（各約 3 分）およびショート動画（各約 15 秒）を制作しました。

●THE シガパーク DAY の開催（R8.3.20）

「THE シガパーク」が、リアルの場で県民とつながるイベントとして、イオンモール草津のセントラルコートにおいて開催しました。

“公園を支える人たち”に焦点をあて、感謝を伝えるとともに、各種イベントを通じてシガパークの世界観を発信し、ファン層の拡大を図りました。



● 公園に関するアンケート調査結果

＜公園アンケート調査概要＞

【 名　称 】公園に関するアンケート調査
【 目　的 】滋賀県の公園の利用実態や公園へのニーズ等を把握する
【 方　法 】WEB アンケート　　：県ホームページに掲載
　　マーケティングリサーチ：調査会社のモニターパネルを活用
【 対　象 】滋賀県内外の 15 歳以上
【 回答数 】2,442 件
　　WEB アンケート　　：県内 197、県外 45
　　マーケティングリサーチ：県内 1,000、県外 1,200
【 期　間 】令和 7 年 11 月 14 日(金) ～ 令和 7 年 12 月 1 日(月)
【 内　容 】利用実態、公園のニーズ（公園に対する思い・期待）の調査

表　質問内容

種別	内　容	回答形式
利用実態	よく利用する（年 1 回以上）公園	選択回答（複数可）
	利用する公園の主な目的	選択回答（複数可）
	一番利用する公園の利用頻度	選択回答
	一番利用する公園の滞在時間	選択回答
	利用する公園の魅力	選択回答（複数可）
	利用する公園の気になる点	選択回答（複数可）
	公園を利用しない理由	自由記述
ニーズ	公園で、新たにやってみたい事、やってほしい事	選択回答（複数可）
	公園での心に残る思い出や、風景	自由記述
	公園の魅力向上・THE シガパークの取組について、期待すること	自由記述
認知度	「THE シガパーク」の認知度	選択回答

Ⅰ．回答者の属性

(1) 性別

性別	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
男性	55%	659	44%	551	50%	1210
女性	45%	535	53%	662	49%	1197
答えたくない	0%	3	3%	32	1%	35
合計	100%	1197	100%	1245	100%	2442

(2) 年齢

年齢	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
20代未満	1%	11	6%	75	4%	86
20代	6%	68	13%	160	9%	228
30代	15%	184	18%	229	17%	413
40代	23%	272	17%	216	20%	488
50代	23%	276	17%	217	20%	493
60代	19%	231	15%	181	17%	412
70代以上	13%	155	12%	150	12%	305
答えたくない	0%	0	1%	17	1%	17
合計	100%	1197	100%	1245	100%	2442

２．アンケート結果

(1)あなたが、よく利用される（年１回以上）公園を教えてください（複数回答可）。

県内に在住していると回答した人は、「よく利用する公園がある」、県外に在住していると回答した人は、「よく利用する公園がない」と回答した割合が高い傾向にありました。

また、よく利用する公園があると回答した人の内訳を見ると、全体として「琵琶湖湖岸の公園」の利用が最も多くあげられました。

よく利用する公園の有無	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
よく利用する公園がある	67%	1243	24%	339	49%	1582
よく利用する公園がない	33%	606	76%	1057	51%	1663

よく利用する公園	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
よく利用する公園がない	33%	606	76%	1057	51%	1663
琵琶湖湖岸の公園	15%	280	5%	75	11%	355
矢橋帰帆島公園	8%	149	2%	25	5%	174
希望が丘文化公園	8%	140	1%	17	5%	157
その他の市町等の公園	5%	94	4%	53	5%	147
びわこ文化公園	6%	115	2%	23	4%	138
びわこ地球市民の森	5%	100	1%	17	4%	117
近江富士花緑公園	4%	71	1%	17	3%	88
びわ湖こどもの国	3%	57	2%	21	2%	78
彦根総合スポーツ公園	3%	51	2%	22	2%	73
陶芸の森	3%	51	1%	19	2%	70
奥びわスポーツの森	2%	42	2%	25	2%	67
安土城考古博物館	2%	43	1%	14	2%	57
春日山公園	2%	36	1%	7	1%	43
尾花川公園	1%	14	0%	4	1%	18
合計	100%	1849	100%	1396	100%	3245

(2)利用されている公園の主な目的は何ですか（複数回答可）。

主な利用目的は、「散策・散歩」「風景を楽しむ」「自然観察」等の自然を楽しむ利用が上位を占めています。

主な目的	県内小計		県外小計		全体合計	
	%	人	%	人	%	人
散策・散歩（犬を含む）	19%	279	17%	68	19%	347
風景を楽しむ（写真撮影等を含む）	17%	247	20%	82	18%	329
自然観察	13%	193	15%	61	14%	254
運動・スポーツ	14%	198	12%	51	13%	249
休憩（トイレ・昼休憩を含む）	10%	143	10%	42	10%	185
遊具で遊ぶ	9%	137	7%	29	9%	166
イベント参加	4%	56	1%	6	3%	62
釣り	2%	32	4%	18	3%	50
文化体験・学習	2%	35	2%	9	2%	44
歴史探訪	2%	25	3%	14	2%	39
デイキャンプ（バーベキュー）	2%	30	2%	9	2%	39
サイクリング・ツーリング	2%	24	1%	5	2%	29
キャンプ（宿泊）	1%	15	2%	8	1%	23
水上スポーツや水泳	1%	14	1%	4	1%	18
その他	1%	21	1%	5	1%	26
合計	100%	1449	100%	411	100%	1860

年齢別に見ると、10代は「運動・スポーツ」、30代は「遊具遊び」、40代は「運動・スポーツ」が最も多く、全体の傾向と比べ特徴がありました。

		15－19歳		20代		30代		40代	
		%	人	%	人	%	人	%	人
主な目的	散策・散歩（犬を含む）	11%	5	21%	25	13%	49	15%	62
	風景を楽しむ（写真撮影等を含む）	18%	8	17%	20	13%	49	13%	54
	自然観察	16%	7	13%	16	9%	35	12%	48
	運動・スポーツ	25%	11	15%	18	15%	55	17%	71
	休憩（トイレ・昼休憩を含む）	5%	2	11%	13	9%	33	9%	37
	遊具で遊ぶ	14%	6	3%	4	19%	71	14%	58
	イベント参加	5%	2	0%	0	4%	14	5%	19
	釣り	2%	1	3%	4	4%	15	2%	10
	文化体験・学習	0%	0	3%	3	3%	13	2%	9
	歴史探訪	0%	0	2%	2	2%	7	2%	7
	デイキャンプ（バーベキュー）	5%	2	4%	5	3%	11	2%	9
	サイクリング・ツーリング	0%	0	2%	2	2%	7	1%	6
	キャンプ（宿泊）	0%	0	4%	5	2%	6	1%	6
	水上スポーツや水泳	0%	0	0%	0	1%	5	2%	8
	その他	0%	0	3%	3	2%	6	1%	4
	合計	100%	44	100%	120	100%	376	100%	408

		50代		60代		70代以上		合計	
		%	人	%	人	%	人	%	人
主な目的	散策・散歩（犬を含む）	20%	66	27%	75	21%	65	19%	347
	風景を楽しむ（写真撮影等を含む）	21%	70	21%	58	23%	70	18%	329
	自然観察	14%	46	17%	47	18%	55	14%	254
	運動・スポーツ	12%	39	8%	23	10%	32	13%	249
	休憩（トイレ・昼休憩を含む）	11%	36	12%	33	10%	31	10%	185
	遊具で遊ぶ	3%	10	3%	9	3%	8	9%	166
	イベント参加	5%	16	2%	6	2%	5	3%	62
	釣り	3%	10	2%	5	2%	5	3%	50
	文化体験・学習	2%	5	2%	6	3%	8	2%	44
	歴史探訪	2%	7	1%	4	4%	12	2%	39
	デイキャンプ（バーベキュー）	2%	6	1%	3	1%	3	2%	39
	サイクリング・ツーリング	2%	7	1%	3	1%	4	2%	29
	キャンプ（宿泊）	1%	4	0%	1	0%	1	1%	23
	水上スポーツや水泳	0%	1	1%	2	1%	2	1%	18
	その他	1%	4	1%	4	2%	5	1%	26
	合計	100%	327	100%	279	100%	306	100%	1860

(3) 一番利用されている公園は、どのくらいの頻度で利用されていますか。

公園の利用頻度は、県内外ともに「年に数回」と回答した人が最も多い傾向にありました。

利用頻度	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
ほぼ毎日	3%	15	2%	3	2%	18
週に２・３回	8%	48	6%	11	8%	59
週に１回	10%	59	9%	15	10%	74
月に数回	18%	109	23%	39	19%	148
月に１回	17%	101	13%	22	16%	123
年に数回	35%	206	34%	58	34%	264
年に１回	10%	58	14%	24	11%	82
合計	100%	596	100%	172	100%	768

(4) 一番利用されている公園には、どのくらい滞在されていますか。

公園の滞在時間は、県内外ともに「1 時間～3 時間」が最も多く、次いで「30 分～1 時間」でした。

滞在時間	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
30分以内	13%	76	6%	10	11%	172
30分～１時間	37%	218	32%	55	36%	546
１～３ 時間	38%	227	44%	74	39%	602
３～５時間	9%	52	10%	17	9%	138
５～８時間	2%	10	5%	8	2%	36
１日	2%	11	3%	5	2%	32
その他	0%	1	1%	1	0%	4
合計	100%	595	100%	170	100%	1530

(5) 利用されている公園の魅力は何ですか。あてはまる項目を全てお選びください（複数回答可）。

公園の魅力は、「風景がきれい」「散歩や散策ができる」と回答した人が多い傾向にありました。

魅力	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
散歩や散策ができる	26%	351	19%	82	24%	433
風景がきれい	24%	333	22%	97	24%	430
動植物が多く生息するなど自然が豊か	10%	135	10%	45	10%	180
遊具が充実	8%	103	7%	32	8%	135
休憩施設が充実	7%	91	10%	44	8%	135
運動・スポーツ施設が充実	7%	93	8%	35	7%	128
文化体験・学習施設が充実	3%	46	3%	15	3%	61
歴史に触れることができる	2%	33	6%	24	3%	57
釣りができる	2%	30	5%	20	3%	50
デイキャンプ（バーベキュー）ができる	2%	30	2%	10	2%	40
イベントが多い	2%	28	1%	4	2%	32
キャンプ（宿泊）ができる	1%	16	2%	8	1%	24
サイクリングやツーリングコースにある	1%	15	2%	8	1%	23
水上スポーツや水泳ができる	1%	13	1%	4	1%	17
その他	3%	45	2%	7	3%	52
合計	100%	1362	100%	435	100%	1797

年齢別に見ると、10代、30代で「遊具が充実」の回答が他の年齢に比べ多いという特徴がありました。

		15－19歳		20代		30代		40代	
		%	人	%	人	%	人	%	人
魅力	風景がきれい	24%	11	19%	24	16%	55	23%	90
	散歩や散策ができる	15%	7	19%	25	19%	66	21%	82
	動植物が多く生息するなど自然が豊か	2%	1	9%	12	8%	28	9%	35
	遊具が充実	20%	9	6%	8	15%	52	11%	42
	休憩施設が充実	7%	3	11%	14	8%	29	7%	27
	運動・スポーツ施設が充実	13%	6	9%	11	8%	29	10%	37
	文化体験・学習施設が充実	0%	0	5%	7	4%	14	3%	11
	歴史に触れることができる	4%	2	2%	3	3%	12	3%	10
	釣りができる	4%	2	5%	6	4%	15	2%	9
	デイキャンプ（バーベキュー）ができる	4%	2	4%	5	2%	8	3%	11
	イベントが多い	2%	1	2%	2	2%	6	2%	8
	キャンプ（宿泊）ができる	0%	0	2%	3	3%	10	1%	4
	サイクリングやツーリングコースにある	0%	0	1%	1	2%	7	1%	4
	水上スポーツや水泳ができる	4%	2	3%	4	1%	4	1%	4
	その他	0%	0	3%	4	3%	10	4%	15
	合計	100%	46	100%	129	100%	345	100%	389

		50代		60代		70代以上		合計	
		%	人	%	人	%	人	%	人
魅力	風景がきれい	28%	87	29%	80	27%	84	24%	430
	散歩や散策ができる	24%	74	31%	87	30%	93	24%	433
	動植物が多く生息するなど自然が豊か	11%	34	13%	35	12%	36	10%	180
	遊具が充実	3%	10	3%	8	2%	6	8%	135
	休憩施設が充実	8%	24	6%	17	7%	21	8%	135
	運動・スポーツ施設が充実	5%	17	4%	10	6%	19	7%	128
	文化体験・学習施設が充実	2%	5	4%	10	5%	14	3%	61
	歴史に触れることができる	3%	9	3%	9	4%	13	3%	57
	釣りができる	3%	8	1%	4	2%	7	3%	50
	デイキャンプ（バーベキュー）ができる	3%	8	1%	3	1%	4	2%	40
	イベントが多い	4%	11	0%	1	1%	3	2%	32
	キャンプ（宿泊）ができる	1%	3	1%	3	0%	1	1%	24
	サイクリングやツーリングコースにある	2%	6	1%	4	1%	2	1%	23
	水上スポーツや水泳ができる	0%	1	1%	2	0%	0	1%	17
	その他	4%	13	2%	5	1%	4	3%	52
	合計	100%	310	100%	278	100%	307	100%	1797

(6) 利用されている公園で、気になる点はありますか（複数回答可）。

公園の気になる点として、特にないと回答した人も多くいましたが、それを除くと「売店や飲食店がない」、「トイレが使いづらい」と回答した人が多い傾向にありました。

また、県外に在住していると回答した人は、「駐車場の駐車可能台数が少ない」と回答した割合が最も多いという結果でした。

気になる点	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
不満は特にない	13%	161	16%	52	14%	213
売店や飲食店がない	13%	158	10%	32	12%	190
トイレが使いづらい	12%	149	9%	29	11%	178
駐車場の駐車可能台数が少ない	8%	105	11%	37	9%	142
日陰が少ない	9%	111	9%	28	9%	139
施設が老朽化している	7%	89	4%	14	7%	103
休憩施設が少ない	7%	82	4%	14	6%	96
駐車場の区画が狭い	4%	55	7%	22	5%	77
ゴミ等の不法投棄など、マナーが悪い利用者が多い	5%	64	4%	13	5%	77
遊具が少ない	4%	55	5%	15	4%	70
乳幼児向けの施設が足りていない	3%	37	4%	12	3%	49
公園の混雑状況が分からない	3%	33	4%	12	3%	45
園路や広場等の清掃、草刈りなどの維持管理が足りていない	3%	36	2%	7	3%	43
公園の入り口が分かりにくい	2%	26	4%	13	2%	39
看板が読みにくい、または不備	2%	26	3%	10	2%	36
バリアフリー対応ができていない	2%	23	3%	9	2%	32
公園内の移動が疲れる	1%	7	0%	1	1%	8
その他	3%	32	2%	8	3%	40
合計	100%	1249	100%	328	100%	1577

(7) 公園を利用していないのはなぜですか（利用する公園がないと回答した人のみ自由記述回答）。

自由記述回答をキーワードごとに集計すると、公園を利用しない理由は「利用する目的がないから」が最も多く、次いで「遠いから」という結果となりました。

利用しない理由	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
利用する目的がないから	58%	166	43%	183	49%	349
遠いから	12%	35	35%	150	26%	185
外に出ないから（インドア）	9%	25	10%	43	10%	68
子どもが大きくなったから	7%	20	4%	16	5%	36
忙しいから	3%	9	3%	13	3%	22
子どもがいないから	4%	11	1%	6	2%	17
わからない	2%	7	2%	7	2%	14
１人だから（一緒に行く人がいない）	1%	4	1%	5	1%	9
暑い・寒いから	1%	2	0%	1	0%	3
楽しくないから	1%	2	0%	1	0%	3
利用したいと思わないから	0%	1	0%	1	0%	2
バーベキューできないから	0%	1	0%	0	0%	1
マナーが悪いから	0%	1	0%	0	0%	1
日焼けをしたくないから	0%	1	0%	0	0%	1

(8) 公園で、新たにやってみたい事、やってほしい事はありますか（複数回答可）。

公園で新たにやってみたい事、やってほしい事は、「カフェで休憩」、「レストランでランチ」と回答した人が多い傾向にありました。

新たにやってみたいこと やってほしいこと	県　内 小　計		県　外 小　計		全　体 合　計	
	%	人	%	人	%	人
特にない	19%	433	25%	536	22%	969
カフェで休憩	18%	406	17%	357	17%	763
レストランでランチ	11%	254	11%	241	11%	495
ウォーキング、ヨガなどの健康づくり	8%	195	8%	181	8%	376
マルシェ	8%	181	6%	138	7%	319
キャンプ、グランピングなど	6%	131	6%	128	6%	259
ビアガーデンやパーティー	6%	132	5%	105	5%	237
自然観察会など野外体験	5%	127	5%	105	5%	232
大型遊具などのアスレチック	5%	124	5%	102	5%	226
クラフト体験制作イベント	3%	75	3%	58	3%	133
ドッグラン	3%	67	2%	53	3%	120
サップ、カヤックなどの湖上体験イベント	3%	65	2%	47	3%	112
写真や絵画などの野外教室	2%	41	2%	50	2%	91
スケートボードなどのアーバンスポーツやボルダリング	2%	55	1%	29	2%	84
その他	1%	34	1%	18	1%	52
合計	2073	2320		2148		4468

年齢別に見ると、10代20代は「キャンプやグランピング」、30代は「大型遊具などのアスレチック」、40代は「マルシェ」、50代以上になると「ウォーキング・ヨガなどの健康づくり」も多く見られるなどの特徴がありました。

		15－19歳		20代		30代		40代	
		%	人	%	人	%	人	%	人
新たにやってみたい事	特になし	15%	27	21%	88	19%	167	20%	179
	カフェで休憩	15%	27	17%	68	17%	150	16%	145
	レストランでランチ	14%	26	12%	51	10%	90	10%	89
	ウォーキング、ヨガなどの健康づくり	6%	10	6%	23	7%	58	7%	64
	マルシェ	7%	13	6%	24	8%	67	8%	67
	キャンプ、グランピングなど	11%	19	9%	37	6%	53	7%	60
	ビアガーデンやパーティー	7%	13	7%	27	4%	37	5%	46
	自然観察会など野外体験	3%	5	5%	19	5%	48	5%	44
	大型遊具などのアスレチック	10%	18	4%	17	8%	74	6%	56
	クラフト体験制作イベント	4%	7	3%	12	4%	31	3%	26
	ドッグラン	3%	6	4%	15	2%	15	3%	28
	サップ、カヤックなどの湖上体験イベント	2%	3	3%	14	4%	32	3%	25
	写真や絵画などの野外教室	2%	4	3%	11	3%	25	2%	17
	スケートボードなどのアーバンスポーツやボルダリングなど	1%	2	1%	6	3%	29	3%	27
	その他	0%	0	0%	0	1%	5	1%	8
	合計	100%	180	100%	412	100%	881	100%	881

		50代		60代		70代以上		合計	
		%	人	%	人	%	人	%	人
新たにやってみたい事	特になし	20%	179	25%	180	26%	127	22%	969
	カフェで休憩	17%	152	17%	124	20%	100	17%	763
	レストランでランチ	12%	105	11%	79	11%	56	11%	495
	ウォーキング、ヨガなどの健康づくり	10%	89	12%	82	10%	50	8%	376
	マルシェ	9%	78	6%	46	5%	24	7%	319
	キャンプ、グランピングなど	5%	43	5%	37	3%	13	6%	259
	ビアガーデンやパーティー	7%	58	5%	36	4%	22	5%	237
	自然観察会など野外体験	5%	40	5%	39	8%	37	5%	232
	大型遊具などのアスレチック	3%	30	2%	14	4%	18	5%	226
	クラフト体験制作イベント	3%	30	2%	17	2%	10	3%	133
	ドッグラン	3%	26	3%	21	2%	8	3%	120
	サップ、カヤックなどの湖上体験イベント	2%	19	2%	15	1%	5	3%	112
	写真や絵画などの野外教室	2%	14	1%	9	2%	11	2%	91
	スケートボードなどのアーバンスポーツやボルダリングなど	1%	13	1%	5	0%	2	2%	84
	その他	1%	8	1%	8	1%	7	1%	52
	合計	100%	884	100%	712	100%	490	100%	4468

(9) あなたにとって、公園での心に残る思い出や、風景などがありましたらお教えください（自由記述）。

自由記述回答をキーワードごとに集計すると、公園での思い出は「子どもとの思い出」や「子どもの頃の思い出」の場所として公園が記憶されていることがわかります。

思い出	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
遊び	23%	184	9%	51	17%	235
子どもとの思い出	16%	128	14%	79	15%	207
風景鑑賞	12%	99	7%	37	10%	136
子どもの頃の思い出	8%	65	12%	68	10%	133
自然観察	7%	56	7%	36	7%	92
ピクニック	4%	32	6%	34	5%	66
琵琶湖	7%	54	1%	7	5%	61
家族との思い出	3%	24	4%	24	4%	48
散策	3%	23	5%	25	4%	48
桜	2%	17	4%	20	3%	37
友達との思い出	2%	17	3%	17	3%	34
花見	2%	13	3%	19	2%	32
のんびり	2%	18	2%	13	2%	31
県外の公園	0%	1	5%	28	2%	29
ペットとの思い出	1%	10	3%	16	2%	26
孫との思い出	2%	14	1%	8	2%	22
アスレチック	1%	11	1%	6	1%	17
イベント	1%	6	1%	7	1%	13
スポーツ	0%	3	2%	10	1%	13
親との思い出	1%	5	1%	7	1%	12
自然	0%	3	2%	9	1%	12
希望が丘公園	1%	10	0%	1	1%	11
紅葉	0%	0	2%	11	1%	11
青春の思い出	1%	7	1%	3	1%	10
デート	0%	0	2%	10	1%	10
合計	100%	800	100%	546	100%	1346

(10) あなたは、「THE シガパーク」の取組をご存じですか。

THE シガパークを「知っている」、「聞いたことはある」と回答した割合は、全体で約 15%でありました。

	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
知っている	8%	91	3%	41	5%	132
聞いたことはある（中身は知らない）	14%	164	7%	87	10%	251
知らない（聞いたことがない）	79%	948	90%	1101	84%	2049
合計	100%	1203	100%	1229	100%	2432

(11) 公園の魅力向上・THE シガパークの取組について、期待することをお聞かせください（自由記述）。

自由記述回答をカテゴリーごとに集計すると、「自然環境の保全・活用・共生」が最も多い傾向にありました。

期待すること	県内 小計		県外 小計		全体 合計	
	%	人	%	人	%	人
自然環境の保全・活用・共生	19%	103	29%	107	23%	210
多様な利用者・利用ニーズへの対応	10%	55	11%	41	10%	96
ライフステージへの対応	8%	43	11%	40	9%	83
情報発信・広報活動の強化・充実	6%	35	5%	19	6%	54
公園の魅力向上とネットワーク化	7%	37	4%	13	5%	50
安心・安全の確保	4%	23	4%	15	4%	38
利用マナーの向上	5%	28	2%	9	4%	37
イベントの充実	4%	23	4%	13	4%	36
休憩機能・施設の充実	4%	23	2%	9	3%	32
遊戯施設の充実・多様化	4%	22	2%	6	3%	28
その他	4%	20	2%	8	3%	28
駐車場の利用料金	3%	17	3%	10	3%	27
交通アクセスの充実・利便性の向上	3%	19	2%	7	3%	26
物販・飲食施設の充実	3%	18	2%	8	3%	26
維持管理の充実	4%	20	1%	4	3%	24
駐車場の充実	3%	15	2%	7	2%	22
景観への配慮と活用	1%	8	4%	13	2%	21
トイレの充実・美化	3%	17	1%	2	2%	19
動物愛護	1%	3	3%	11	2%	14
事業の継続	2%	9	1%	4	1%	13
合計	100%	556	100%	363	100%	919

● THE シガパークビジョン検討委員会

１．THE シガパークビジョン検討委員会

水と緑と人でつながる「THE シガパーク」の持つ価値・魅力をさらに高め、人々の暮らしを豊かにするため、長期的な構想や取組の行動計画となる「THE シガパークビジョン」に関して検討するにあたり、各分野の専門家や関係者等の幅広い意見を反映させていくことを目的として、「THE シガパークビジョン検討委員会」を設置し、全６回の検討を行いました。

２．THE シガパークビジョン検討委員会名簿

分　野	所　属　・　氏　名
地域・まちづくり	滋賀県立大学地域共生センター 上田　洋平　特別講師
造園	京都府立大学　生命環境科学研究科 福井　　亘　教授
自然	公益財団法人　淡海環境保全財団 髙木　浩文　理事長
野外活動	滋賀県シェアリングネイチャー協会 辻　　祥子　氏
子ども	合同会社　LOCO 宮本　麻里　代表
健康 （ウェルビーイング）	武蔵野美術大学　造形構想学部 岩嵜　博論　教授
メディア	一般社団法人　ママパスポートコミュニティ 廣瀬　香織　代表理事
【事務局】 ・滋賀県　交通まちづくり部　THE シガパーク推進課 ・株式会社　協和コンサルタンツ	

委員の所属は令和８年時点